

令和 6 年度

地域貢献活動 報告書

群馬県立県民健康科学大学

専門職向けキャリア開発支援事業

● 県立病院・県内病院連携事業



心臓血管センター

各病院が抱える課題解決に向け組織レベルで展開



がんセンター



精神医療センター



大学

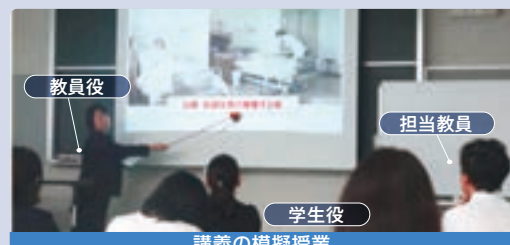


小児医療センター

共通テーマ

- 4病院共通看護職員のキャリア開発の現状と課題
- 共同研究を通じた人材育成と大学への知の還元
- 備品の長期貸出
- 県内病院への看護教員派遣
「専門看護師・認定看護師による相談支援」

● 看護学教員養成課程 ● 看護学実習指導者養成講習会



講義の模擬授業



演習の模擬授業

- 県内の看護学教員を目指す看護職者や病院などで学生や後輩看護師教育に携わる看護職者への教育機会の提供
- 大学の教育理念に基づく独自のカリキュラム（厚労省認可）
- 大学看護学部での看護基礎教育と連動する本学ならではの教育展開

県民向け事業

● 公開講座・出前講座

- 県民向けの「公開講座」「公開授業」「出前講座」により本学の教育と研究成果を県民に直接的に還元



公開講座の様子



出前講座の様子

● 情報発信事業

- 大学や本センターの活動を広く県民に周知



- リーフレットの作成
- News Letterの発行(年3回)
- 地域貢献活動報告書の発行

● 地域連携事業

- 他大学との連携、ボランティア活動により、県民の保健医療福祉に寄与する地域に根ざした取り組み



- ボランティア活動（地域および病院での活動）

- 県内他大学との協力・連携事業
- 一般住民・団体を対象とした講演・研修
- 桂萱地区・芳賀地区住民との協働
- 地域に開かれた図書館

● 放射線測定協力事業

- 放射線測定に関する助言・研修会
- 測定値の解釈・評価・公開
- 対策の立案・実施に関する助言
「県民の安全安心の提供」



研修会の様子



放射線測定の様子

県民 専

地域

● 目指す地域

看護学分野

- 看護学教員養成課程
- 看護学実習指導者養成講習会
- 看護職研究支援事業

- 看護師特定行為研修課程
- 県立病院・県内病院連携事業
- 健康福祉政策事業
- 地域連携事業

県立の保健医療系大学として研究成果などを、県民をは者、行政などに対し還元する療・福祉の向上に寄与する

地域連携・キャリア開発センター2024

ともに発展することを目指して

● 看護師特定行為研修課程

- 指定研修機関として、群馬県内の慢性期・在宅医療等のニーズに対応し、手順書により一定の診療の補助ができる看護師を養成する機会の提供
- 授業ではeラーニングを導入、働きながら学修できる環境を準備



気管カニューレ交換実技試験

診療放射線リカレント教育



放射線治療講習会



MRI技術講習会

- 放射線治療講習会
- 診療放射線技師CT・MRI研究会
- 診療放射線技師継続教育等
- 群馬県診療放射線技師会講習支援
- 国際化研究支援
- 診療放射線技師核医学研究会

● 看護職研究支援事業 「看護研究セミナー」と「看護研究個別支援」



講義:研究計画書の作成



講義:文献検索と文献検討



講義:研究における倫理

看護研究個別支援

- 「看護研究セミナー」と「看護研究個別支援」による看護職者への研究活動の支援
- テーマに合わせた担当教員の決定、およそ9か月にわたる個別支援

門 行政

連携

貢献の方向性

診療放射線学分野

- 診療放射線リカレント教育
- 放射線測定協力事業

- 情報発信事業
- 健康寿命延伸プロジェクト
- 公開講座・出前講座

て、大学が所有する知的財産
じめ広く関係機関、医療従事
ことにより、県民の保健・医

行政との協働事業

● 健康寿命延伸プロジェクト

群馬県健康福祉部
健康長寿社会づくり推進課

×

県民健康科学大学

- 地域の実態把握・課題分析・健康課題の明確化
- 調査研究・実践プログラムの開発・人材育成

科学的根拠に基づいた健康づくり対策の展開

- ① 群馬県健康福祉部との共催による「元気に動こう・歩こうプロジェクト」の推進
- ② 市町村との共催による「健康寿命延伸シンポジウム」の開催
- ③ 小規模町村支援事業(榛東村の健康づくり推進に関する包括協定)
- ④ 健康増進効果検証事業(群馬県立ゆうあいピック記念温水プール) など



元気県ぐんま



● 健康福祉政策事業

群馬県
健康福祉部
生活こども部

情報交換
マッチング

大学
看護学部
診療放射線学部

- 認知症サポーター・ステップアップ講座教材の普及活動
- 子育て講座プログラム政策・普及
- 群馬県保健福祉事務所等における胸部X線撮影時の医療被ばく線量測定



令和6年度地域貢献活動報告書の発刊に寄せて

—「地域連携センター」から「地域連携・キャリア開発センター」へ—

群馬県立県民健康科学大学は、1952年の群馬県立看護学院、1958年の群馬県立診療エックス線技師養成所を母体とし、県立福祉大学校、県立医療短期大学を経て、2005年に4年制大学として設置されました。本学の目的は、「豊かな人間性と専門的な知識・技術に加え、人間としての尊厳を重んじ、様々な側面から保健医療を考え、自立して判断し行動することができる保健医療専門職を養成するとともに、研究成果を地域に還元し、県民の保健・医療・福祉環境の更なる向上に寄与する」というものです。

この目的を実現する方策の一つとして、2012年に「地域連携センター」が開設されました。開設から13年が経過し、看護学部、診療放射線学部ともに地域で働く保健医療専門職のニーズに対応したリスキリング・リカレント教育の機会の提供に力を入れていることから、令和6（2024）年度「地域連携・キャリア開発センター（以下、センター）」に改称しました。

センターの目的は、県立の医療系大学として、県民の保健、医療及び福祉の向上に寄与することです。この目的を達成するため、組織においては、センター事業の計画及び評価を審議する学外有識者を含む運営会議を設置し、その下に事業を実施する運営委員会を置いています。事業の運営にあたる構成員は学内全ての教員であり、自身の研究テーマや教育経験などに応じて各事業に配置され、活動に参加しています。事業の遂行や予算管理及び執行などは事務局が担っており、センターでの地域貢献活動は教職員一同により成り立っています。

今年度は、センター事業を「看護継続教育」「病院連携・研究支援」「診療放射線リカレント教育」「地元創成・連携推進」の4部門15事業に再編しました。事業の内容は、専門職向けのリカレント教育、研究支援、研修会等及び県民向けの公開講座、県内行政・福祉・教育機関との連携による研修会など多様であり、いずれも実務や地域に密着したものです。

また、事業の一環として厚生労働省の指定や認定を要するものも運営しています。看護学教員養成課程（2012年～）、看護師特定行為研修課程（2020年～）、看護学実習指導者養成講習会（2023年～）、群馬県診療放射線技師会講習支援（令和3年厚生労働省告示第273号研修）の4事業では、指定されている教育内容を踏まえつつ、本学の人材や環境を活用した独創的な教育プログラムの提供に努めており、多くの方が修了されました。

このような保健医療専門職の人材養成・育成を含む県民の皆様への地域貢献活動は、連携先の多くの皆様のご支援やご協力によって可能となっていると認識しております。連携先の本学への温かなお力添えと、先達の地元への思いのこもった活動の積み重ねが、地域連携・キャリア開発センターへの改称に繋がっていることを心に留めて、今後も誠実に取り組んでまいります。

今年度に寄せられました関係する皆様からのご支援とご協力、ご活用いただきました県民の皆様にご心から感謝し、引き続きご理解を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年10月

地域連携・キャリア開発センター長 飯田 苗 恵

目 次

I 地域連携・キャリア開発センターの活動

1. 群馬県立県民健康科学大学 地域連携・キャリア開発センター概要	
1) 設置概要	2
2) 事業概要	3
2. 事業報告	
1) 看護学教員養成課程	4
2) 看護学実習指導者養成講習会	5
3) 看護師特定行為研修課程	8
4) 県立病院・県内病院連携	10
5) 看護職研究支援	12
6) 放射線治療講習会	14
7) 診療放射線技師CT・MRI研究会	15
8) 診療放射線技師継続教育等	17
9) 群馬県診療放射線技師会講習支援	18
10) 国際化研究支援	19
11) 診療放射線技師核医学研究会	20
12) 公開講座・出前講座	21
13) 情報発信	23
14) 健康福祉政策・地域連携	24
15) 健康寿命延伸プロジェクト	29
16) ピックアップ	31
17) Newsletter	32

II その他の地域貢献活動

1. 学会活動	40
2. 一般住民・団体を対象とした講演・研修	45
3. 保健医療専門職を対象とした講演・研修	46
4. 行政組織での活動等	50
5. 任意団体での活動等	51
6. 他教育機関非常勤講師	54
7. 報道記事	56

III 関連規程

・群馬県立県民健康科学大学地域連携・キャリア開発センター設置運営規程	58
・群馬県立県民健康科学大学地域連携・キャリア開発センター運営会議 及び地域連携・キャリア開発センター運営委員会設置運営細則	59

1) 設置概要

本学はこれまで、看護師、保健師及び診療放射線技師の養成校として、臨床現場で活躍できる多くの医療専門職を育成することで、地域の医療水準及び県民の健康水準の向上に貢献してきました。そのような中、平成19年の学校教育法の改正等により、「社会貢献」が「教育」、「研究」に次ぐ大学の第3の役割に位置づけられたことを踏まえ、本学においても、これまで以上に地域貢献を推進するため、平成24年4月に大学附属機関として、地域連携センターを設置しました。

また、令和6年度から、組織体制を4部門（計15事業）に再編した上で、「地域連携・キャリア開発センター」に名称を変更しました。

本学地域連携・キャリア開発センターは、県立の医療系大学として、大学が所有する知的財産や研究成果等を、県民をはじめ、広く教育機関、医療機関、医療従事者、行政等に対し還元することにより、県民福祉の向上に寄与することを目的として、地域貢献に関する各種事業に取り組みます。

■地域連携・キャリア開発センター運営会議構成員一覧（令和6年4月1日時点）

区 分		氏 名
委員長	地域連携・キャリア開発センター長、健康福祉政策・地域連携	廣 瀬 規代美
副委員長	地域連携・キャリア開発副センター長、健康寿命延伸プロジェクト	大 澤 真奈美
	地域連携・キャリア開発副センター長、国際化研究支援	小 倉 敏 裕
委 員	看護学部長	横 山 京 子
	診療放射線学部長	下瀬川 正 幸
	看護学教員養成課程、看護学実習指導者養成講習会	高 橋 裕 子
	看護師特定行為研修課程	飯 田 苗 恵
	県立病院・県内病院連携（看護学部）	行 田 智 子
	県立病院・県内病院連携（診療放射線学部）	上 原 真 澄
	看護職研究支援	上 山 真 美
	放射線治療講習会	佐々木 浩 二
	診療放射線技師CT・MRI研究会	林 則 夫
	診療放射線技師継続教育等	渡 部 晴 之
	群馬県診療放射線技師会講習支援	五十嵐 博
	診療放射線技師核医学研究会	大 崎 洋 充
	放射線測定協力	杉 野 雅 人
	公開講座・出前講座	寺 下 貴 美
	情報発信	狩 野 太 郎
	事務局	古 沢 実知也
	（学外有識者：県健康福祉部健康福祉課）	大久保 美智子
	（学外有識者：県看護協会）	神 山 智 子
	（学外有識者：県診療放射線技師会）	後 閑 隆 之
	（学外有識者：県医師会）	瀬 古 聖 一
	（学外有識者：県立心臓血管センター）	内 藤 滋 人

2) 事業概要

事業名	事業概要
1 看護学教員養成課程 P.4～5	看護師養成教育機関の看護学教員や臨床現場で教育的役割を担う教育担当者を対象とし、看護基礎教育に携わる教育者としての役割を遂行するために必要な知識・技術を教授する。大学主体で看護基礎教育に携わる教育者の教育実践能力の維持向上を図る。
2 看護学実習指導者養成講習会 P.6～7	県内の保健師、助産師、看護師、または准看護師養成所の実習施設で実習指導の任にある者、または将来実習指導者となる予定の者を対象に、看護基礎教育における実習の意義と実習指導者の役割を理解し、効果的な実習指導を行うために必要な知識・技術を教授する。大学の企画・運営により看護学実習指導に携わる人材を育成するための学修機会を提供する。
3 看護師特定行為研修課程 P.8～9	特定行為に係わる看護師の研修制度の指定研修機関として、県内の慢性期・在宅医療等に貢献できる修了者を養成するための研修の機会を提供する。
4 県立病院・県内病院連携 P.10～11	県立4病院（心臓血管センター、がんセンター、精神医療センター、小児医療センター）及び県内病院と本学で、病院が抱える課題（人材育成等）について、その解決に向けた連携事業を継続して、組織レベルで展開する。
5 看護職研究支援 P.12～13	県内の病院、行政機関、健診機関、訪問看護ステーション、福祉施設、事業所等に所属する原則看護師、保健師、助産師を対象に、看護研究を実施する際に必要な研究の基礎的知識を習得するための看護研究セミナーと、研究テーマに沿って看護研究の一連の過程を本学教員が支援する看護研究個別支援を実施し、県内の看護職者の研究活動を支援することで、研究能力の向上と県民の健康の保持・増進に寄与する研究成果の産出を図る。
6 放射線治療講習会 P.14	がんプロフェッショナル基盤養成プランの一つとして、筑波大学を中心に取り組んでいる「関東がん専門医療人養成拠点」事業に沿って、放射線治療教育プログラムのセミナーを開催する。これを通じて、治療技術の普及や向上とともに、がんの早期発見に繋がる検診への関心を高める。
7 診療放射線技師CT・MRI研究会 P.15～16	県内の診療放射線技師の臨床研究支援事業として、臨床現場における画像診断検査の向上・発展を目的とする研究の推進と発表に必要な方法を討論する研究会を実施する。
8 診療放射線技師継続教育等 P.17	県内診療放射線技師の撮像技術向上事業として、「MRI専門技術者」資格の取得を視野に入れた講習会等を開催するほか、MRIを用いた共同研究と研修会を実施する。これらにより、診療放射線技師が最新の知識・技術を習得できるようにし、がん等の疾病の早期発見の機会の増加を図る。
9 群馬県診療放射線技師会講習支援 P.18	診療放射線技師の業務拡大に伴い、群馬県診療放射線技師会で行われる注腸造影検査および静脈注射（針刺しを除く）に関する講習会へ講師の派遣を行い、地域の診療放射線技師の技術向上に貢献する。
10 国際化研究支援 P.19	県内診療放射線技師の研究支援事業として、国際学会発表を目的とした講習会等を実施する。
11 診療放射線技師核医学研究会 P.20	県内診療放射線技師および学生を対象に、核医学検査に関する講習会を開催する。また、技術支援を通して核医学の臨床研究や多施設研究の推進を行う。
12 公開講座・出前講座 P.21～22	県民向けの公開講座、出前講座及び公開授業等を行い、地域貢献活動を積極的に行う。
13 情報発信 P.23	大学や本センターの活動を広く県民に周知するために、Newsletter、リーフレット及び地域貢献活動報告書を発行する。
14 健康福祉政策・地域連携 P.24～28	健康福祉政策の観点からは、群馬県健康福祉部との情報交換を行い、マッチングした事業の展開を図る。 また、地域連携の観点からは、学生ボランティア活動の支援体制の充実に取り組むとともに、放射線測定に関する助言・指導、測定値の解釈・評価、対策の立案・実施に関する助言等を通じて、県民に安全・安心の提供を図る。
15 健康寿命延伸プロジェクト P.29～30	群馬県民の健康寿命延伸を目的として、群馬県健康福祉部及び県内市町村等との協働による地域の実態把握・課題分析・健康課題の明確化、調査研究、実践プログラムの企画及び実施、人材育成及び県民に対する健康寿命延伸に関わる知識、技術の普及等、根拠に基づく健康づくり対策を展開する。

看護学教員養成課程

担当者／看護学部 ◎高橋（裕）講師、松田教授、山下教授、服部准教授、河内講師

1 事業目的・内容

令和6年度厚生労働省による専任教員養成講習会の認可を受け、県の委託契約に基づき大学が企画・運営を行う。

- 1 新カリキュラムによる授業（750時間）を提供
- 2 公開授業開催（7月、2月予定）
- 3 運営会議（年7回予定）
- 4 一般教育訓練給付金指定講座の申請
- 5 令和7年度学生募集20名
 - ・課程紹介パンフレット、ポスターの作成・配布
 - ・群馬県広報、上毛新聞に学生募集の案内を掲載
 - ・説明会の開催（7・9月予定）
 - ・令和7年度入学選抜試験（1次募集：12月・2次募集：2月）
- 6 申請または報告等に関する手続
 - ・認可申請の手続き：2月
 - ・報告書の作成：3月

2 実施結果

- 1 課程生15名への授業計画に沿った授業の実施
20科目、カリキュラム750時間
教育実習実施：令和6年10月15日～11月15日
- 2 公開授業開催
第1回：令和6年7月25日・26日（参加者22名）
第2回：令和7年2月4日（参加者24名）
- 3 運営会議（7回開催）
学生募集、入学選抜試験、修了判定などに関すること
- 4 一般教育訓練給付金指定講座の申請：制度利用者3名
- 5 令和7年度学生募集20名
 - ・課程紹介パンフレット、ポスターを募集要項とともに関東甲信越・東北地方に配布
 - ・群馬県広報、上毛新聞に学生募集案内を掲載
 - ・説明会の実施（7月27日：10名、9月27日：47名）

- ・群馬県看護学会にて、県内施設の活動紹介として展示、学生募集の説明実施
- ・令和7年度入学者選抜試験
 - 1次募集：12月12日 10名合格
 - 2次募集：2月20日 2名合格
- 入学予定者 12名

6 厚生労働省への認可申請書類、報告書作成

- ・認可申請の手続き：2月
- ・報告書の作成：3月

3 事業成果・効果

受講生15名が修了した。授業評価、修了時アンケートの結果から、各科目、効果的な授業が展開され目標達成につながった。

学生募集活動やHPの内容充実の他、公開授業を県内病院に周知し、公開授業参加者の増加につながった。

4 事業の課題及び改善の方向性

課題は、入学者の継続的充足である。今後、県内病院看護部への働きかけを強化し、本課程への志願者増加を図りたい。

看護学実習指導者養成講習会

担当者／看護学部 ◎高橋（裕）講師、松田教授、大澤教授、行田教授、金谷准教授

1 事業目的・内容

群馬県内の看護学実習指導者を養成するための講習の機会を提供する。県との委託契約に基づき大学が企画・運営を行う。

1 講習会の実施

- ・講習会実施期間：令和6年7月22日（月）～9月27日（金）（実質30日間）
- ・募集定員：一般48名、特定分野8名

2 受講生への授業の提供

- ・授業科目7科目（10単位180時間）

3 運営会議（年6回予定）

4 HP作成

- ・講習会の内容、受講生募集案内などの掲載

5 令和7年度受講生募集案内・講習会実施計画の作成

6 報告等に関する手続

- ・実績報告書の作成：10月
- ・群馬県健康福祉部医務課への事業実施報告

7 群馬県健康福祉部医務課との情報交換、連携

8 昨年度受講者への修了後1年アンケート調査実施

2 実施結果

1 講習会の実施

- ・講習会実施期間：令和6年7月22日（月）～9月27日（金）

2 受講生（一般48名、特定分野8名）への授業計画に沿った授業の実施

- ・授業科目7科目（10単位180時間）
- ・参加観察実習実施：令和6年9月2日（月）～9月11日（水）

実習施設：群馬県立心臓血管センター、伊勢崎市民病院

SUBARU健康保険組合太田記念病院

群馬県看護協会訪問看護ステーション

群馬県看護協会訪問看護ステーション前橋南

群馬県看護協会訪問看護ステーション粕川

3 運営会議（6回）

4 HP作成

- ・講習会の内容、受講生募集案内などを掲載

5 令和7年度受講生募集案内・講習会実施計画の作成

- ・受講生 一般：48名、特定分野：8名
- ・講習会実施期間：令和7年7月14日（月）～9月26日（金）

6 報告等に関する手続

- ・11月15日医務課と打ち合わせ会議開催、実績報告書提出

7 次年度の事業実施に向け、募集に関する事項を決定した。

8 昨年度受講者への修了後1年アンケート調査を実施した。

講習会の学びが有意義なものであり、実習指導者としての実践に役立っていることが示された。

3 事業成果・効果

一般47名、特定分野8名が講習会を修了した。

授業評価、修了時アンケートの結果から、各科目効果的な授業が展開され、目標達成につながった。

全期間大学で開催できるよう教室を確保し、受講生の教育環境を整えた。

受講生の増加に伴い、実習施設・指導教員を増加した結果、問題なく実施できた。

4 事業の課題及び改善の方向性

課題は、実習環境の整備である。次年度以降も教育の質を担保しつつ実習を行えるよう教員配置などを検討していく。

看護師特定行為研修課程

担当者／看護学部 ◎飯田教授、横山教授、廣瀬教授、清水准教授、大川准教授、
佐藤講師、佐々木講師、田村助教
診療放射線学部 瀬川教授

1 事業目的・内容

群馬県内の慢性期・在宅医療等のニーズに対応し、チーム医療のキーパーソンとして貢献できる特定行為研修修了者を養成するための研修の機会を提供する。

1 課程生への研修の実施

- ・一般7名（病院6名、訪問看護1名）

2 研修運営委員会（年8回程度の予定）

3 研修管理委員会（年2回程度の予定）

4 令和7年度入学生の募集・入学試験

- ・一般：1次8月29日、2次11月29日
- ・区分別科目追加履修：2月29日

5 課程生の所属施設看護管理者を対象とした会議

（研修修了者の活動環境の整備について）

6 届出、申請または報告等に関する手続

7 フォローアップ研修の企画・開催

8 新たな区分の導入に関する検討

9 職業実践力育成プログラム（BP）の認定及び専門的な教育訓練給付金等の申請が可能となる 教育環境整備の検討

10 群馬県健康福祉部医務課との情報交換、連携等による県内特定行為研修の推進

2 実施結果

学内教員、非常勤講師、模擬患者、協力施設の指導者の協力を得て研修機会を提供した。

1 一般7名への研修の実施

- ・昨年度から開始した研修でのポータブルエコーの活用について、「栄養及び水分管理に係る薬剤投与
関連」での授業及び臨地実習で展開した。

2 研修運営委員会の開催

- ・定例7回、持ち回り1回

3 研修管理委員会の開催

- ・ 2 回：7 月書面会議、3 月オンライン会議

4 令和7年度入学生の募集・入学試験の実施

- ・ 8 月、一般 5 名合格

5 課程生の所属施設看護管理者を対象とした会議

- ・ 9 月にオンラインにて実施、4 施設から複数名の管理者の参加があった

6 届出、申請または報告等に関する調整・手続

- ・ 新規協力施設申請：公立藤岡総合病院、老年病研究所附属病院、伊勢崎佐波医師会立病院、真木病院、吉原クリニックの 5 施設、及び前橋協立病院（1 区分追加）

7 フォローアップ研修の企画・開催

- ・ 第 1 回：9 月、気管カニューレ交換（希望する修了生）、症例検討会（昨年度修了生の報告）
- ・ 第 2 回：3 月、昨年度修了生による今年度の活動報告及び次年度予定

8 新たな区分の導入に関する検討：関係者への聴取等

9 今年度より区分別科目のeラーニング教材の契約をS-QUE研究会へ変更

10 群馬県との連携

- ・ 県主催・本学及び 2 大学共催「令和 6 年度群馬県看護師特定行為研修修了者フォローアップ研修会」を 2 回（11 月及び 1 月）に開催
- ・ 県内 10 指定研修機関の情報交換会の開催協力及び参加（8 月）

3 事業成果・効果

5 期生一般 7 名が修了した。フォローアップ研修 2 回を継続、臨地実習でのポータブルエコー活用の研修継続は好評である。県と連携した県内の特定行為研修修了者対象のフォローアップ研修の開催は、県内の特定行為研修の推進に繋がると考える。

4 事業の課題及び改善の方向

課題は①本学フォローアップ研修への県内修了者の参加の検討、②新たな区分の導入や本学修了生の県内他指定研修機関での区分別科目追加履修の可能性の検討、③共通科目のeラーニング業者の変更及び令和 8 年度協力施設へのアクセス開放に向けた検討、④職業実践力育成プログラム（BP）の認定、⑤群馬県健康福祉部医務課、他指定研修機関との連携による県内の特定行為研修の推進である。

県立病院・県内病院連携

担当者／看護学部 ◎行田教授、清水准教授、富永講師、戸谷講師、和田助教、鈴木(峰)助教、福田助教
診療放射線学部 ◎上原教授、渡部准教授

1 事業目的・内容

- ・県立4病院共通課題事業及び病院別課題解決のための連携事業を組織レベルで展開する。
- ・人材育成やSDに関する課題解決のための支援、臨床における課題解決のための支援、各種講演や研修会の開催等を検討・実施する。
- ・県内病院の課題解決に向けて、専門看護師によるニーズに応じた相談・支援を実施する。

<看護部門>

1 県立病院連携事業の共通課題の検討支援

- ①病院局経営戦略課看護人材支援専門官および4病院看護部長等とともに、残された課題の検討を継続する。
- ②県立4病院の人材育成の検討課題の解決に向けて検討する。

2 病院別課題解決における支援

- ①小児医療センターの要請に応じて、連携事業を継続して実施する。

3 県内病院における課題解決に向けた相談・支援

- ①課題・ニーズに応じて専門看護師（老年看護、がん看護）による専門的立場からの相談・支援等を実施する。
- ②活動内容を周知する。

<診療放射線部門>

- 1 共同研究等を通じた人材育成と大学への知の還元（共通）
- 2 備品の貸出（共通）
- 3 備品の貸出事業の利用拡大に向けての備品データベースの構築

2 実施結果

<看護部門>

1 県立4病院連携事業会議の開催

- ①日時：1回目 令和6年9月24日（火）9:30～11:30
Zoom（ハイブリッド型）
- 2回目 令和7年2月4日（火）13:30～15:00、
Zoom（ハイブリッド型）

- ②出席者：県立病院局課長・看護人材支援専門官・係長、
県立4病院看護部長・副看護部長・教育担当師長
センター長・学部長・事業責任者・担当者

- ③内容：副看護師長の人材育成～副看護師長の教育システムの構築～について、副看護師長への支援の検討過程、支援や育成状況、マネジメントラダーの評価と活用について意見交換を行った。

2 回目は、副看護師長への支援検討過程やマネジメントラダー I（副看護師長レベル）の評価と課題、教育システムの構築に向けた取り組みと現状把握のための調査等について意見交換を行った。

- 2 県立病院の希望を受けて、「研究倫理と Web 調査」と「Google フォームを使用した調査と集計」の研修会を実施した。
- 3 県内病院連携事業は、1 施設で開始し、17 回訪問し、認知症ケアの講義や看護計画等の相談、検討を行っている。また、研究発表や論文執筆の支援を行っている。

<診療放射線部門>

- 1 令和 6 年度は要望が寄せられなかったため実施しなかった。
- 2 県内病院に対する備品貸し出し事業については例年 5 件程度の貸出実績があるが、令和 6 年度については貸し出しの要望がなく実績数は 0 であった。
- 3 令和 5 年度に引き続き備品貸し出し事業の利用拡大に向けての備品データベース構築のための準備として PC、データベースソフトの準備を行い、データベースフォーマットの設計・試作を行った。

3 事業成果・効果

<看護部門>

県立 4 病院連携事業会議により、新たな課題「副看護師長の人材育成」に取り組み、課題解決に向けた方法や支援に寄与できたと考える。また、県内病院連携事業は 1 施設にて開始し継続的に訪問し、施設のニーズに合わせて活動ができている。

<診療放射線部門>

- 1 事業の実施要望がなかったため特に成果・効果はない。
- 2 今年度は貸出実績がなかったため特に成果・効果はない。
- 3 今年度は備品データベース貸し出しの環境整備を行った。引き続きデータベースの構築を行っていく。

4 事業の課題及び改善の方向性

<看護部門>

- 1 県立 4 病院の人材育成の検討課題として、次年度も「副看護師長の人材育成」を行っていく予定である。
- 2 県内病院連携事業は、病院のニーズを把握すると共に、継続して活動していく。

<診療放射線部門>

- 1 県立病院への知の還元事業に関する要望把握に努めたい。
- 2 引き続き要望が寄せられた備品について貸し出しを行っていく。
- 3 貸し出し備品の利用を高めるため引き続きデータベースの試作を進め利用しやすい環境整備を進めていく。

看護職研究支援

担当者／看護学部 ◎上山准教授、橋本准教授、浅見講師、戸谷講師、福島講師、丸澤講師、久保田助教

1 事業目的・内容

県内の病院、行政機関、訪問看護ステーション、福祉施設、事業所等に所属する原則看護職者を対象に、看護研究セミナーと看護研究個別支援の連動を図り実施する。

1. 看護研究セミナーの開催（ハイブリッド開催）

1) オンデマンド配信（令和6年5月8日～6月3日予定）

第1回「看護研究計画書の作成」

第2回「看護研究における倫理と手続き」

第3回「看護研究のための文献検索と文献検討」：受講者：8名

2) 対面演習の開催（令和6年6月1日）

第3回「看護研究のための文献検索と文献検討」

2. 看護研究個別支援成果報告会：参加者8（13）名

・対面開催（令和6年6月1日）報告者2名

3. 看護研究個別支援の実施

1) 新規支援：6グループ

・新規支援期間 令和6年7月～令和7年3月

2) 継続支援：3グループ

・継続支援期間：令和6年4月～令和7年3月

2 実施結果

1. 看護研究セミナー（ハイブリッド開催）：受講者36名

1) オンデマンド配信（令和6年5月8日～6月3日）

第1回「看護研究計画書の作成」

第2回「看護研究における倫理と手続き」

第3回「看護研究のための文献検索と文献検討」

2) 対面演習の開催（令和6年6月1日）：受講者：8名

第3回「看護研究のための文献検索と文献検討」

2. 看護研究個別支援成果報告会：参加者8（13）名

・対面開催（令和6年6月1日）報告者2名

3. 看護研究個別支援の実施

1) 新規支援：6グループ

・新規支援期間 令和6年7月～令和7年3月

2) 継続支援：3グループ

・継続支援期間：令和6年4月～令和7年3月

3 事業成果・効果

看護研究セミナーでは、6圏域、病院や保健所など10施設の看護職が受講し、全ての受講生がセミナーの内容を活用できそうと回答した。また、昨年度から再開した演習では、文献検索の体験を通して、その理解を促すことができ、高い満足度を得た。

看護研究個別支援は、対面やZoom等を活用して研究課題の明確化から複数回の支援を行い、新規では院内発表を予定し、継続では2グループが学会発表を行うことができた。

個別支援成果報告会は今年度より対面で再開したことにより、報告者と参加者が交流する機会に繋がった。また、今年度より、支援期間終了後の学会発表等について調査することにより、支援の成果がより明確になった。

4 事業の課題及び改善の方向性

- 1) 研究セミナーの受講生を増員するために、県内の介護老人保健施設にも研究セミナーの案内を送付する。また、県内施設のニーズに合わせた研究セミナーの内容を検討する。
- 2) 受講生のアンケート結果を受け、研究セミナーの配信期間を延長する。

放射線治療講習会

担当者／診療放射線学部 ◎佐々木教授、高田准教授、大野准教授、津野助教

1 事業目的・内容

- 1 がんプロフェッショナル（医学物理士、放射線治療専門技師）養成のための医学物理学セミナーを開催
- 2 群馬放射線治療技術研究会を後援
- 3 群馬県内の放射線治療セミナーの企画と講師派遣

2 実施結果

第1回医学物理学講演会

テーマ：「頭頸部がんの放射線治療を極める」

日 時：令和6年12月21日 対面とZoomWebinarとのHybrid開催

参加者199名

第2回医学物理学講演会

テーマ：「放射線治療における医療安全を考える」

日 時：令和7年3月2日 対面とZoomWebinarによるWeb開催

参加者186名

3 事業成果・効果

第1回は、多くの施設で行われている頭頸部がん放射線治療に関する基礎と臨床応用について、医師、医学物理士および放射線治療専門放射線技師に講演していただいた。第2回は、医療安全に関する基礎から事例検討そして最新の評価方法まで幅広く講演していただいた。

頭頸部は体位の自由度が高くその位置再現性を高くする技術が必要であり、放射線治療計画においては、3次元治療計画から強度変調放射線治療（IMRT、VMAT）まで種々の治療方法が用いられ高度な知識と応用が必要であることから有意義なテーマであった。また、医療安全はすべての医療関連職種が知っておくべき知識であり注目を集めた。このような幅広い知識を一度の講演で深めることができる機会は少ないため、地域の技術者、医学物理士および本学の学生にも貴重な機会となった。非常に有用で実務に直接役立つ内容が多く、知識の再構築に有用と好評であった。

放射線治療技術の向上のための講演会は、群馬県で治療を受ける患者の利益につながる有意義な活動である。

4 事業の課題及び改善の方向性

放射線治療に携わる医療従事者の育成については、県がん対策推進条例においても明記されており、専門的な医療従事者の質的向上を図る必要がある。今後も、がんプロフェッショナル養成事業として、本学独自のセミナーの開催等を通じ、放射線技術系および医学物理関連の基礎教育や継続教育に取り組んでいく。

診療放射線技師CT・MRI研究会

担当者／診療放射線学部 ◎林教授、川村准教授、丸山講師

1 事業目的・内容

- 1 県内の診療放射線技師の臨床研究支援事業として、臨床現場における画像診断検査の向上・発展を目的とする研究の推進と発信に必要な方法を討論する研究会の実施する。
- 2 画像診断検査の向上を目的とした研究会の広報やオンライン研究会を共催または後援として支援するとともに、必要に応じて講師を派遣する。

2 実施結果

主催事業として3回の研究会をオンラインで開催した。

- ・令和6年度第1回健科大CT・MRI研究会（ゼミ）の開催
：2024年9月30日（月）19：00～20：00 Zoomミーティング（参加者4名）
- ・令和6年度第2回健科大CT・MRI研究会（ゼミ）の開催
：2024年10月7日（月）19：00～20：00 Zoomミーティング（参加者4名）
- ・令和6年度第3回健科大CT・MRI研究会（ゼミ）の開催
：2024年10月28日（月）19：00～20：00 Zoomミーティング（参加者5名）

共催事業として以下の研究会の支援及び開催を行った。

1. ベーシックRTぐんま会

- ・第5回ベーシックRTぐんま会の事前会議
：2024年4月3日（水）19：00～19：30 Zoomミーティング（参加者8名）
- ・第5回ベーシックRTぐんま会の開催
：2024年7月4日（木）19：00～20：30 Zoomウェビナー（参加者約40名）
- ・第6回ベーシックRTぐんま会の事前会議
：2024年9月9日（月）19：00～19：45 Zoomミーティング（参加者8名）
- ・第6回ベーシックRTぐんま会
：2024年12月12日（木）19：00～20：30 Zoomウェビナー（参加者約40名）

2. 群馬Gyroユーザーズミーティング

- ・令和6年度群馬Gyroユーザーズミーティング世話人会
：2024年7月2日（火）19:00～20:30 ハイブリッド：Zoomと放射線第1準備室（参加者10名）
- ・第18回群馬Gyroユーザーズミーティング
：2024年7月31日（水）19:00～20:30 Zoomオンライン（参加者30名）
- ・令和6年度群馬Gyroユーザーズミーティング世話人会
：2024年11月20日（水）19:30～21:30 ハイブリッド：Zoomと放射線第1準備室（参加者10名）
- ・第19回群馬Gyroユーザーズミーティング
：2025年2月6日（木）19:00～20:30 Zoomと多目的ホールのハイブリッド（参加者26名）

3 事業成果・効果

主催事業の研究成果を以下の通り学術発表できた。

【学会発表：JSRT 第71回関東支部研究発表大会】

- ・DR画像領域におけるeffective CNRの有用性について検討
- ・シンチレーターの異なる間接変換型フラットパネルディテクタの画像処理条件

4 事業の課題及び改善の方向性

本年度は、主催事業として3回のCT・MRI研究会（ゼミ）をオンラインで開催し、安定した運営を実施できた。参加者数は回ごとに4～5名であったが、今後も継続的に開催し、研究支援の場を提供する予定である。

共催事業については、ベーシックRTぐんま会および群馬Gyroユーザーズミーティングの支援および開催を行った。ベーシックRTぐんま会は2回の事前会議と2回の本会を実施し、参加者は約40名と安定した集客が得られた。群馬Gyroユーザーズミーティングについては、ハイブリッド開催の導入により、対面とオンラインの利点を生かした運営が可能となった。特に、オンライン参加者の利便性が向上したため、今後もハイブリッド形式を継続していく方向で検討する。

また、主催事業の研究成果として、JSRT 第71回関東支部研究発表大会での学術発表を行い、研究会の成果を広く発信することができた。今後も、研究会を通じた臨床研究の支援を強化し、学会発表の機会を増やすことを目指す。

診療放射線技師継続教育等

担当者／診療放射線学部 ◎渡部准教授、林教授、川村准教授、津野助教

1 事業目的・内容

- 1 本学MRI装置などを用いた講習会の開催
- 2 群馬MR研究会への支援
- 3 MRIに関する他施設との共同研究

2 実施結果

1 MRI技術講習会の開催

10月12日にウェビナーでの講習会を開催した。本会は、MRIに携わる群馬県内外の診療放射線技師を主対象とし「MRI専門技術者」資格の取得を視野に入れた講習会である。

- ① 「専門技術者認定試験に向けたMRI基礎編」
茨城県立医療大学保健医療学部 郡 倫一 先生
- ② 「専門技術者認定試験に向けたMRI臨床編」
公立館林厚生病院医療技術部 鈴木 智也 先生
- ③ 「定量的磁化率マッピングQSMの基礎と最近の話題」
群馬パース大学医療技術学部 高橋 哲彦 先生

2 群馬MR研究会への支援

第257回6月20日参加者73名の開催を支援した。また第258回3月6日参加者40名の開催を支援した。

3 事業成果・効果

今年度のMRI講習会は昨年と同様Zoomを用いたウェビナー形式で開催した。対象はこれからMRIを専門的に扱う若手技師を主とし、内容は「基礎から応用まで幅広く学べる」ものとした。参加者数は県内外から95名（延べ）、内容・運営ともに好評であった。群馬MRI研究会では円滑な運営になるよう支援を行った。

4 事業の課題及び改善の方向性

MRI講習会は、県内の診療放射線技師のスキルアップの施策として継続していく。群馬MR研究会への支援は、引き続き運営などを支援していく。

群馬県診療放射線技師会講習支援

担当者／診療放射線学部 ◎五十嵐准教授、米持講師、丸山講師

1 事業目的・内容

- 1 令和3年厚生労働省告示第273号研修への講師等派遣及び会場提供等
- 2 群馬県がん検診エックス線撮影従事者講習への講師派遣及び会場提供等
- 3 診療放射線技師のためのフレッシューズセミナーへの講師派遣及び会場提供等
- 4 日本診療放射線技師会主催「基礎技術講習（MRI検査）」への講師派遣及び会場提供等
- 5 群馬県診療放射線技師会企画推進部・放射線管理部の講習会開催支援

2 実施結果

- 1 令和3年厚生労働省告示第273号研修への講師派遣及び会場提供等：6回開催し、講師派遣24名（延べ）、受講者276名
- 2 群馬県がん検診エックス線撮影従事者講習への講師派遣及び会場提供等：3回開催し、受講者73名
- 3 診療放射線技師のためのフレッシューズセミナーへの講師派遣及び会場提供等：1回開催し、講師派遣3名、受講者14名
- 4 日本診療放射線技師会主催「基礎技術講習（MRI検査）」：e-learningに移行したため、会場型は開催せず
- 5 群馬県診療放射線技師会企画推進部の講習会への講師派遣及び会場提供等：5回開催し、講師派遣4名（延べ）、受講者189名

3 事業成果・効果

2024年4月からはじまった医師の働き方改革に対応するため、多くの研修修了者を送り出せた。また、関連講習会を開催することで、県内診療放射線技師の技術向上を支援できた。

4 事業の課題及び改善の方向性

令和3年厚生労働省告示第273号研修の開催は残り1年となるが、引き続き関係団体等と調整をしてスムーズな運営をしていく。

国際化研究支援

担当者／診療放射線学部 ◎小倉（敏）教授、渡部准教授、佐藤（充）助教

1 事業目的・内容

県内診療放射線技師の研究支援事業として、国際的視野を身につけ、国際学会発表ができるよう基礎知識を学べるよう講演、発表会等を実施、国際学会の紹介、国際学会参加報告も行う。

2 実施結果

実施したセミナーでは、海外で開催された国際学会での発表を経験した大学院生が講師役を務め、来年度実施される予定である短期海外研修に向けた準備や、今回海外発表で経験した発表内容、国際学会の雰囲気などを紹介した。

タイトルは「海外における学術発表と現地の学生との交流について in 韓国」で、本学診療放射線学研究科博士前期課程の一木呈礼紗（てれさ）さんが講演した。

3 事業成果・効果

来年度実施される海外短期研修の情報をみなさんにお知らせすることができた。

4 事業の課題及び改善の方向性

今後も、国際的な視野を育てるために継続を考えている。

診療放射線技師核医学研究会

担当者／診療放射線学部 ◎大崎教授、佐藤（充）助教

1 事業目的・内容

県内診療放射線技師を対象に、核医学専門技師の取得を視野に入れた核医学検査に関わる継続的な講習会の機会を提供する。また、技術支援を通して核医学の臨床研究や多施設研究の推進を行う。

- 1 SPECT及びPET装置の最新情報の提供
- 2 核医学及びPETに関わる検査法・技術に関する講習会の開催
- 3 核医学治療に関する講習会の開催
- 4 核医学及びPETの技術的支援による研究推進

2 実施結果

令和6年度第一回研究会を群馬核医学技術研究と共同でZoomと現地開催のハイブリッドで2/17に行った。講演内容は以下の通りである。参加者約40名。

- （1）本研究会の紹介（群馬県立県民健康科学大学 大崎洋充）
- （2）核医学治療に関わる診療放射線技師の実務（がん研有明病院 吉田ほのか）

また、アミロイドPETの撮像施設認証の技術的サポートを実施した結果、本年度群馬県下の6施設でPET撮像施設認証を取得することができた。m3.comにwebサイトを立ち上げて、会員登録やMLの構築を行った。

3 事業成果・効果

核医学治療やアミロイドPETの保険適用は本県における社会的なニーズが高く、当事業を通して各施設に適切な情報提供が可能となった。また、撮像施設認証取得のためのファントムデータ取得は専門技師以外では難儀であり、本学教員のPET撮像認証制度委員としての経験を活用して、円滑な保険適用の検査実施が可能となった。

4 事業の課題及び改善の方向性

アミロイドPETの継続的なフォローに加えて、核医学治療に関する臨床体制・研究をサポートするべく、準備を進めていく必要がある。また、核医学専門技師の取得に関する講義の実施やサポートも進める必要がある。核医学に関わる企業の講演も行い最新の情報提供も行いたい。

公開講座・出前講座

担当者／看護学部 山崎教授、鶴生川准教授、小西講師、中川助教、塩澤助教、山岸助教
診療放射線学部 ◎寺下准教授、大崎教授、多鹿准教授、西村助手

1 事業目的・内容

県民を対象とした公開講座や講演会等の事業を通して、地域の方々に本学の教育と研究の成果を還元する。

1 公開講座

県民を対象とした講座を年度内に、2回（可能なら3回）実施する。感染症等の蔓延の状況に応じて、講演を収録した動画のYouTube限定公開に切り替えて実施する。感染症等が蔓延していない場合には対面で行う。

2 出前講座

「出前講座」のメニュー（一覧）をホームページに掲載し、要請に応じて地域団体が主催する集会等へ講師を派遣する。なお感染症等の蔓延に応じて、派遣を見合わせるなど適宜対応する。

3 公開授業

「群馬県民の生活と文化」「環境と健康概論」「人間の発達と健康概論」の3科目について実施することとしているが、新型コロナウイルス感染症の影響についてはその時点で検討する。

2 実施結果

1 公開講座

- ・第1回公開講座「これから始める生成～上手な生成AIとの付き合い方～」
日時：令和6年8月24日（土）13:00～14:30
会場：本学大講義室
講師：本学 診療放射線学部 助教 佐藤充
参加者数：74名
- ・第2回公開講座「3Dイメージング 一身近なものから最新のものまで」
日時：令和7年2月15日（土）13:00～14:30
会場：本学多大講義室
講師：本学 診療放射線学部 准教授 多鹿友喜
参加者数：39名

2 出前講座

「のべ出前講座数」61回、「のべ受講者数」2379人

3 公開授業

「群馬県民の生活と文化」 延べ受講者数：43名
「環境と健康概論」 延べ受講者数：29名
「人間の発達と健康概論」 延べ受講者数：44名

3 事業成果・効果

本事業では、広く県民に本学の教育や研究成果を還元するという目的で、県立大学に求められる水準かつ県民のニーズに沿った企画を実施している。本年度について、公開講座では、本学教員を講師として2回開催した。参加者数はコロナ禍以前の水準まで回復した。公開授業は昨年と同等の参加者であった。本年度は本事業の目的を十分達成できたと考えられる。

4 事業の課題及び改善の方向性

これまで通り本事業では、県民のニーズに沿って企画し、活動を継続していく。今後とも地域貢献活動を積極的に実施すると共に、大学の現状や卒業生の活躍なども含め、他委員会と共により広範な広報活動に力を入れる必要がある。

情報発信

担当者／看護学部 ◎狩野教授、大川准教授、樋口講師、生方講師、島田講師、鈴木（恵）講師、高橋（美）講師、垣上講師、鈴木（峰）助教、福田助教
診療放射線学部 原教授、長島准教授、川村准教授、津野助教、西村助手

1 事業目的・内容

Newsletter、地域貢献活動報告書、リーフレットを発行し、大学や本センターの活動を広く県民に周知する。

- ・連携センターNewsletterを年3回、7月、11月、3月に発行する
- ・2023年度地域貢献活動報告書を編集し、10月初旬に発行する
- ・2023－24年版地域連携・キャリア開発センターリーフレットを用いて、センターの役割や活動について県内関係機関へのPRを継続する。

2 実施結果

Newsletterを年3回、7月、11月、3月に発行し、センター事業や公開講座、学生らによる地域ボランティア活動、学生や教員らの学会賞受賞などについて報告した。2023年度地域貢献活動報告書では具体的な活動状況を報告したが、印刷発注準備に時間がかかり、当初の予定より1か月遅れの発行となった。地域連携・キャリア開発センターへの名称変更に伴い、紹介リーフレットを改定して発行した。

3 事業成果・効果

Newsletterや活動報告書等の発行により、センター事業や、学生・教職員の活躍をPRすることができた。

4 事業の課題及び改善の方向性

Newsletterについては、業務集中により発行が遅延しやすかった3月号の準備を1月から着手し予定通り発行ができた。地域貢献活動報告書については、複数担当者で進捗管理を行い、発行予定日に間に合うよう準備を進めたい。

健康福祉政策・地域連携（健康福祉政策）

担当者／看護学部 ◎廣瀬教授、狩野教授、行田教授
診療放射線学部 米持講師、佐藤（充）助教

1 事業目的・内容

健康福祉部や生活こども部と情報交換により施策を行う。

1 認知症サポーター養成支援

県内の関係施設等からの講師依頼への対応

2 県民の健康福祉施策の実現に向けた事業の協働展開

（1）子育て講座プログラム政策・普及への協力

生活こども部児童福祉・青少年課と連携し、「ぐんまの親子仲良しこよし子育て講座 ほめトレ乳児編 トレーナー・マニュアル」の活用・普及に向けた検討の継続

3 感染症・がん疾病対策課と連携による保健福祉事務所等の胸部X線撮影時の医療被ばく線量測定

4 展開内容を協議の上検討

2 実施結果

1 認知症サポーター養成支援

（1）認知症サポーター・ステップアップ研修教材の紹介動画

中高生向け：再生回数140回（R6年度～）

一般向け：再生回数：約960回（H29年度～）

（2）認知症ステップアップ研修

榛東村の認知症講座の依頼はなかった。

2 県民の健康福祉施策の実現に向けた事業の協働展開

（1）子育て講座プログラム政策・普及への協力

・今年度の活動はなかった。

3 「群馬県保健福祉事務所等における胸部X線撮影時の医療被ばく線量測定」

・県の担当者と定期的な打ち合わせを実施した。

・医療被ばくの線量測定に関する具体的な相談はなかった。

4. 准看護師再教育集合研修

県医務課の依頼を受け、講師5名による准看護師再教育集合研修を実施した。

日時：11月25日：10:00～16:10、27日：11:00～15:10

3 事業成果・効果

「認知症サポーター養成支援」では、大学HPで認知症サポーター・ステップアップ研修教材について、令和6年度より中高生向けの教材を公開し、一般向けとともに興味・関心をもって利用された。また、「保健福祉事務所等における胸部X線撮影時の医療被ばく線量測定」では、県担当者との打ち合わせや意見交

換により、線量計の経年劣化に伴う精度管理が担保されたと考える。

4 事業の課題及び改善の方向性

1. 「認知症サポーター養成支援」については、認知症サポーター活動促進事業の推進に向けて、市町村からの支援要請に応じて教材の提供や研修の支援を継続する。
2. 「胸部X線撮影時の医療被ばく線量測定」については、線量計の精度管理を目的に、更新や使用を含めて、必要に応じて助言・支援を継続する。
「群馬県子育て講座乳児編のプログラム」については、マニュアル完成により、今年度をもって終了とする。

健康福祉政策・地域連携（地域連携）

担当者／看護学部 ◎狩野教授、◎高井教授、廣瀬教授、櫻井准教授、久保講師、富永講師、
大澤（康）講師、高橋（美）講師、坪井講師、塩ノ谷講師、鈴木（美）講師
高橋（佳）助教
診療放射線学部 ◎原教授、大野准教授

1 事業目的・内容

学生ボランティア活動や他大学との連携等により、県民の保健医療福祉に寄与する地域に根ざした取り組みを行う。

<ボランティア活動>

- ・ボランティアサークルや桃ノ木川を愛する会、リレーフォーライフ健科大ボランティアチーム等の活動を支援し、子育て支援、地域の活性化、環境美化、県内がん対策の推進などの重要課題の解決に向けて学生や教職員が活動しやすい環境を整備する。
- ・コロナ禍に伴い継承が困難となっている活動ノウハウの補填と継承に向けた支援を継続する
- ・ボランティア活動を行う学内団体の支援
- ・学生図書系の協力を得て、ボランティア募集情報の収集・選別と学生への周知を行う

<県内他大学との協力・連携事業>

- ・「めぶく。プラットホーム前橋」への参加
- ・群馬大学主催、群馬県内16大学・高専による「ぐんまダイバーシティ推進地域ネットワーク」への参加

<地域交流（新規）>

- ・桂萱地区健康チェックへの協力支援
- ・桃ノ木小学校町探検活動への協力

2 実施結果

1. 「ボランティア活動」では、大学近隣の地域行事や環境美化活動、子ども向けの体験型イベントやがん対策チャリティーイベント等に学生・教職員がボランティアとして多数参加した。
2. 「めぶく。プラットホーム前橋」では、市内5大学による中高生向け大学講座に両学部から各1題の講座を配信するとともに、担当職員が定例会議に参加した。
3. 「ぐんまダイバーシティ推進地域ネットワーク」では、担当教員が会議に出席し、各大学の取り組みや課題を共有した。また、本学からは7名が女性研究者シーズ集に主要研究テーマや地域貢献関連分野の情報を登録し、共同研究や地域貢献の機会確保を行った。
4. 「桂萱地区健康チェック」では、下記の日程で、骨密度、体重・体脂肪・血圧・血管年齢・肌水分量・血中酸素飽和度の測定を実施した。午前・午後合わせて近隣住民89名が参加した。

日時：12月1日（日）10:00～11:30、13:00～14:30

場所：桂萱公民館

3 事業成果・効果

「ボランティア活動」「めぶく。プラットフォーム前橋」「桂萱地区健康チェック」では、教職員が協働し、地域行事や多様なイベントへの参加、今後の進路選択への参考に中高生向けの動画を作成・配信、地域住民の健康チェックの実施により、県内・地域の活性化や地域住民の健康維持・増進に向けた活動ができた。また、「ぐんまダイバーシティ推進ネットワーク」を通し、情報共有により研究や地域貢献活動への機会につなげることができたと考える。

4 事業の課題及び改善の方向性

1. 本事業については、大学近隣との情報交換やコミュニケーションを図り、学生・教職員の活動協力に向けた周知とともに、ボランティア活動・支援を継続する。
2. 県内他大学や前橋市との情報共有や連携を図るとともに、地域住民のニーズに応じた活動を通じて、県民の健康の保持・増進に向けた取り組みを実施する。

健康福祉政策・地域連携（放射線測定協力）

担当者／診療放射線学部 ◎杉野准教授、原教授

1 事業目的・内容

- 1 生活環境の放射線とその測定に対する助言を行う（随時）。
- 2 測定器の簡易校正の依頼に対応する（随時）。
- 3 自治体が定期的に実施する空間線量率測定の助言および指導を行うとともに測定結果に基づいて線量評価報告書を作成する。

測定回数は、前橋市 3回、みどり市 1回、川場村 1回を予定している。

- 4 放射線（能）に関する講習会への講師派遣依頼に対応する。

2 実施結果

下記の自治体から提出された空間線量率測定結果について評価し、報告書を作成した。

【前橋市】

- ・測定地点：バイオマス発電施設周辺 4地点、公園および市役所等 4地点、赤城山 6地点
- ・測定回数：バイオマス発電施設周辺、公園および支所等 2回、赤城山 1回
- ・公開場所：非公開

【みどり市】

- ・測定地点：桐原グラウンドおよびテント村 2地点
- ・測定回数：1回
- ・公開場所：みどり市HP

【川場村】

- ・測定地点：川場村のキャンプ場、ハイキングコース等 15地点
- ・測定回数：1回
- ・公開場所：世田谷区教育委員会

3 事業成果・効果

- ・**前橋市**：バイオマス発電所稼働から8年目の測定となった。稼働後の空間線量率を継続的に測定し、バックグラウンドデータを蓄積している。昨年に引き続き、赤城山の空間線量率について評価をしたところ、2011年事故当初と比較して約70～76%の減衰を確認することができた。
- ・**みどり市**：2地点の空間線量率データについてコメントした。コメントはみどり市HPで公開されている。
- ・**川場村**：キャンプ場、ハイキングコース等15地点の空間線量率データから、世田谷区小学5年生の移動教室（2泊3日）における外部被ばく線量を試算した。結果と報告書については、世田谷区教育委員会を通して保護者及び関係者に説明がなされている。

4 事業の課題及び改善の方向性

東京電力福島第一原子力発電所の事故を契機に、原発由来の放射性物質に対する県民の不安解消の一助となるよう空間線量率測定を計画し遂行してきた。事故から約14年が経過したが、自治体から要請がある限り、環境中の放射線および放射能、空間線量率測定等に関わる質問や依頼に対応していく。

健康寿命延伸プロジェクト

担当者／看護学部 ◎大澤（真）教授、宮崎教授、狩野教授、塩ノ谷講師、鈴木（美）講師、坪井講師、
佐藤講師、大澤（康）講師、高橋（佳）助教
診療放射線学部 佐藤（哲）教授、大野准教授

1 事業目的・内容

群馬県民の健康寿命延伸を目指した事業に取り組む。

具体的には、群馬県健康福祉部及び県内市町村等との協働による地域の実態把握・課題分析・健康課題の明確化、調査研究、実践プログラムの企画及び実施、人材育成及び県民に対する健康寿命延伸に関わる知識、技術の普及等、科学的根拠に基づいた健康づくり対策を展開する。

1) 元気県群馬21健康づくり協働事業

- (1) 群馬県民の健康寿命の延伸及びぐんま元気の5か条普及啓発に向けて、群馬県健康福祉部及び市町村の要望に応じ、大学との協働によるイベントの開催を企画、実施する。

2) 小規模町村支援事業のモデル地区として選定した榛東村の健康づくり対策に対する協力

- (1) 身体活動量計を活用した研究を推進する。
- (2) 村との協働により作成した慢性腎臓病発症予防・重症化予防リーフレットの普及を図る。
- (3) 保健福祉計画策定等に委員として参画し、有識者の立場から発言する。
- (4) 認知症サポーター研修の講師として協力する。
- (5) その他 村の要望を踏まえ検討する。

3) 群馬県立ゆうあいピック記念温水プールにおける健康増進効果検証事業に対する取り組み

- (1) 施設が実施している健康教室利用者を対象として、収集したデータ分析をすすめ、心身への影響等について、心理的指標及び生理的指標を用いて検証し、介入研究を実施する。

4) 「ぐんま元気エクステンションセミナー」の開催

- (1) 出前講座登録時に「健康寿命延伸プログラム」と明示した16講座を「ぐんま元気エクステンションセミナー」として開催する。

2 実施結果

1) 元気県群馬21健康づくり協働事業

令和6年度において、県および市町村からの協力依頼はなく、本事業の実施はなかった。

2) 小規模町村支援事業

＜榛東村への支援＞

(1) 身体活動量計を活用した研究

活動量計の使用希望者が少なく、十分なデータ収集ができなかったため、引き続き課題として検討することとした。

(2) 慢性腎臓病発症予防・重症化予防リーフレット作成

村がこれまで作成したリーフレットをアレンジし、継続して活用しているため、令和6年度において新たに大学への作成依頼はなかった。

(3) 保健医療福祉計画策定への参画

事業メンバーが「榛東村第9期介護保険事業計画及び高齢者保健福祉計画」策定懇談会に委員として参画した。

(4) 認知症サポーターステップアップ研修の実施

令和6年度は、榛東村からの協力依頼はなかった。

3) 群馬県立友愛ピック記念温水プールに関わる事業

令和6年度は、プールが主催する健康測定により3回協力（測定項目：ロコモ度、体組成）し、各回20名程度、計65名を測定した。

4) ぐんまエクステンションセミナー

令和6年度の実施件数は30件、参加人数1251人、登録14講座であった。

3 事業成果・効果

小規模町村支援事業では、榛東村への支援を継続し、これまでに一定の成果が得ることができた。現在、村は自立した活動を実施できており、令和6年度の大学からの主な支援協力は中止した。今後は村の要望に応じて支援を継続する方針である。

また、新規に他の小規模市町村への支援を開始する準備を行い、令和7年度から支援希望町村を募集する予定である。認知症サポーター研修では、大学教員の知識・技術を活かし、講師として協力した。その結果、修了者が認知症カフェの運営を担うなど、小規模町村における専門家のマンパワーが不足の解消へ寄与するとともに、村民の健康寿命の延伸や保健活動の質の向上に貢献した。さらに、ぐんまエクステンションセミナーを通じ、県民の健康寿命延伸に寄与することができた。

4 事業の課題及び改善の方向性

健康寿命延伸プロジェクトは、県および市町村等の要望に応じて支援を行っている。新たな要望があれば柔軟に対応し、県民の健康寿命延伸に向けた取組みをさらに活発化させていく。

ピックアップ

出前講座【健康寿命延伸プログラム】

「元気にいきいき生活するために！」

看護学部 講師 高橋美穂子 鈴木恵理

【概要】

本講座「元気にいきいき生活するために！」は、県内で生活する高齢者を対象にした健康寿命延伸プログラムです。毎日いきいき生活するためには、「からだ」だけでなく「こころ」も元気であることが大切です。「こころ」の健康やストレスとの付き合い方などについてのお話のあと、「からだ」を使って軽い運動（笑いヨガ、マッサージなど）を参加者の皆さまと一緒に体験しています。

【実施状況】

令和6年度は、介護・福祉職の方や一般企業にお勤めの方、高齢者の方などを対象に、県内の6箇所で実施しました。

【主な講演内容】

ストレスとは、ストレスによる影響、ストレスへの対処、笑いヨガ、マッサージ など

【参加者の感想】

「適度なストレスが成長を促す点に共感できた」「一緒に参加した人と笑ったり、話したりすることで、会場全体がとても良い雰囲気になった」「体を動かしながら笑うことでスッキリするのがわかった」「終了時には心身ともにスッキリしていた」などがありました。

【担当者より】

「こころ」や「からだ」がうつうつしたときにこそ、実施していただきたい内容だと思います。毎日、少しでも、いきいきと生活するために、一緒に体験してみませんか？



参加者の皆さまとの笑いヨガの様子



『地域連携・キャリア開発センター』に名称を変更！

地域社会のニーズに対応した事業の推進を目指して 地域連携・キャリア開発センター長 廣瀬規代美

本学地域連携センターは、開設後13年目を迎え、4月より『地域連携・キャリア開発センター』に名称を変更致しました。これまでの組織体制を「看護継続教育」「病院連携・研究支援」「診療放射線リカレント教育」「地元創成・連携推進」の4部門に再編し、計15事業を展開して参ります。当センターは、高齢化社会の到来、医療の高度化に伴い変革する医療現場に対応できる看護専門職および診療放射線技師のキャリアアップを目的としたリカレント教育の推進に向けて事業の充実を図っております。さらに、地域社会のニーズに応じて、大学の知的財産・研究成果を活用した公開講座の開催等を通し、県民の健康維持・増進に寄与できるよう努めております。

今後も、関係機関・関係者の方々と協働し、地元 に根付いた医療系大学としての役割を果たすべく精進して参ります。引き続きご理解とご支援をどうぞ宜しくお願い申し上げます。



写真：(中央)廣瀬センター長、(左)小倉、(右)大澤 副センター長

本学 元学長 名誉教授 土井邦雄先生ご夫妻より学生支援のご寄付

去る4月22日、本学名誉教授で元学長の土井邦雄先生ご夫妻より、学生の研究活動の支援のため、1,600万円のご寄付をいただきました。

土井元学長ご夫妻からは、2017年から今回を含め総額3,000万円のご寄付をいただいております。このご支援を活用して多数の学生が国内外での学会発表や学会参加等をしております。ご夫妻からの長年にわたる浄財のご寄付に、心より御礼申し上げます。



東西大学校（韓国）との学術交流協定締結

本学と東西大学校（韓国釜山市）は令和6年2月19日に調印式を行い、学生及び教員の交流、共同研究、学術情報の交換、短期研修等に関する協力を目的とした学術交流協定を締結しました。今後は、本協定に基づき相互に協力して交流を深めてまいります。

写真右：東西大学校 国際部副所長兼放射線学科教授 ユン・ヨンス
写真左：群馬県立県民健康科学大学 学長 柏倉 健一



報 告

【学部生・大学院生の学会賞受賞】

日本放射線技術学会関東支部 優秀学生賞の受賞について

令和6年3月25日に、診療放射線学部4年生（現卒業生）の倉澤一希さんが、公益社団法人日本放射線技術学会関東支部から「関東支部優秀学生賞」を授与されました。昨年12月の日本放射線技術学会東京・関東支部合同研究発表大会2023での発表等が評価されたものです。



日本診療放射線技師会 学業優秀賞の受賞について

令和6年3月25日に、診療放射線学部4年生（現卒業生）の中里湧貴さんが、公益社団法人日本診療放射線技師会から「学業優秀賞」を授与されました。本学での学業成績が極めて優秀であったことに加え、4月から診療放射線技師として病院に勤務し、地域医療に貢献していこうという強い意思が評価されたものです。



【学生による地域ボランティア活動】

去る5月12日（日）、前橋市桂萱地区で開催された「のびゆくこどもをつどい・ふれあいの広場」に、本学ボランティアサークルから、代表の猪野愛莉さん（看護2年）ほか学生13名が参加し、バルンアートとスタンプラリーブースを出展しました。目の前のカラフルな風船があつという間に子犬や剣に変身する様子は来場した子どもたちに大変喜ばれ、地元地域の皆さまとも交流ができました。参加学生からは、疲れたけれど楽しかった、子どもたちに喜んでもらえてうれしかった、などの感想が聞かれ、笑顔あふれる楽しいひと時となりました。



公開講座

【テーマ】これから始める生成AI～上手な生成AIとの付き合い方～

【日時】令和6年8月24日（土）13:00～14:30

【会場】群馬県立県民健康科学大学 大講義室

【講師】群馬県立県民健康科学大学 診療放射線学部 助教 佐藤 充 先生

【申込方法】詳細は本学ホームページをご覧ください。



お知らせ

OPEN CAMPUS 2024

8月9日(金)、10日(土) にオープンキャンパスを開催します！

対象：高校生、受験生とその家族 内容：学部説明会、施設見学、模擬講義・演習、個別相談等
申し込み：7月上旬よりWeb受付開始（予定）＊詳細は随時ホームページでお知らせします

発行：群馬県立県民健康科学大学地域連携・キャリア開発センター 〒371-0052 群馬県前橋市上沖町323-1
TEL:027-235-1211 FAX:027-235-2501 URL: <https://www.gchs.ac.jp/>



群馬県立県民健康科学大学

Vol.12/No.2 2024.11

地域連携・キャリア開発センター Newsletter

オープンキャンパスを開催しました

対面式を中心に実施したオープンキャンパスについて

8月9日、10日にオープンキャンパスを開催し、県内外の高校生845名と保護者740名にご参加いただきました。本年度は制限を設けずに自由に大学内を見学していただき、賑やかで楽しい2日間になりました。

当日は学部説明会、個別相談会、在学生と交流会、施設見学、模擬授業、模擬演習体験を行いました。多くの参加者が、学生や教員から学習内容や体験談を聞き、大学生活の雰囲気を感じ取り、イメージを深めてくださっていました。また、文字集めをしながらの見学は、楽しく学校を回れたと好評でした。文字集めをクリアされた方には本学とぐんまちゃんの限定コラボレーション缶バッジが配られました。

参加者からは、「先輩たちの話を聞いたことで大学への理解が深まった」「体験談を交えた学部説明会と演習で、大学の雰囲気を感じ看護の仕事の魅力を体感できた」「超音波や放射線の見学、体験が楽しかった」などの感想をいただき、盛況のうちに終わることができました。



ボランティア活動報告

【桃の木リバーを愛する会による花の苗の植え付け】 開催：6月21日(金)



学生と教職員8名が参加、管理員さんも応援参加

桃の木リバーを愛する会（放射3年 藤田 春花 会長）の皆さんが、毎年恒例の花の苗植えを行いました。赤や白の可憐な花が、河辺を通る人たちの目を楽しませています。同会は平成21年から桃の木川沿いの環境美化活動に取り組み、地域の皆さんと交流しています。

【第50回 ホリデーインまえばし】 開催：8月25日(日) 会場：前橋敷島公園

今年で第50回の節目を迎えたホリデーインまえばしに、ボランティアサークル（看護2年 猪野愛莉会長）から10名が参加し、オリジナル缶バッジコーナーを出展しました。幼児から小学生を中心に621名の親子がテントを訪れて自由にお絵かきを楽しみ、素敵な缶バッジが仕上がりました。閉会式では、ホリデーマーチに合わせて大人も子どももみんなで踊り、楽しい夏の日を笑顔で締めくくりました。



ボランティアサークルのみなさん



教職員親子も参加

【前橋市下沖町納涼祭】

開催：8月3日(土)

会場：前橋市下沖町公民館



血圧測定コーナーでは地元の皆さまと交流ができました

日頃実習等でお世話になっている下沖町の納涼祭に看護学部4年生5名と教員2名が、血圧測定コーナーの出展や合唱、ビンゴ大会などに参加させていただきました。地元住民の皆さまに温かくお迎えいただき、親睦を深めることができました。

学生からは、たくさんの人が測定に参加して下さり嬉しかった、とても楽しく貴重な体験となった、との感想がありました。



右写真：ステージでは『ルージュの伝言』を合唱

報告

【教員の受賞】

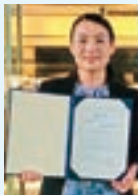
日本生体医工学会優秀賞および特別賞の受賞について

診療放射線学部の佐藤充助教が、第63回日本生体医工学会大会のYoung Investigator's Awardセッションにて、「優秀賞」および「特別賞」を受賞しました。



日本診療放射線技師会功労賞の受賞について

診療放射線学部の五十嵐博准教授が、(一社)群馬県診療放射線技師会第84回定時総会において、「日本診療放射線技師会 功労賞」を受賞しました。



日本看護研究学会奨励賞の受賞について

看護学部の橋本晴美准教授が、日本看護研究学会第50回学術集会において、「2023年度 奨励賞」を受賞しました。

受賞論文：がん患者の呼吸困難感に影響する要因、橋本晴美 ほか、日本看護研究学会雑誌46(2), 2023.

活動報告

【第1回 公開講座を実施しました】

テーマ：これから始める生成AIー上手な生成AIとの付き合い方ー

講師：診療放射線学部 佐藤 充



令和6年8月24日に、生成AIの原理や使い方についての第1回公開講座を実施しました。

74名の参加者からの意見には、「ChatGPTについて知りたかったので非常に勉強になった」「楽しくAIについて理解を深める事ができた」「生成AIの注意点を踏まえて、活用していきたいと思った」などがありました。

※ 地域連携・キャリア開発センターでは、事業の一環として、公開講座の開催を計画しています。お楽しみに!!

【出前講座を実施しています】

教員がそれぞれの専門知識を生かしつつ、県民の皆様にわかりやすい説明や体験となるような講座を準備しています。令和6年度の講座メニューは33テーマで講師の派遣は無料です。ぜひ、ご活用ください。

右写真：【健康寿命延伸プログラム】元気にいきいき生活するために！の1コマ



発行：群馬県立県民健康科学大学地域連携・キャリア開発センター 〒371-0052 群馬県前橋市上沖町323-1
TEL:027-235-1211 FAX:027-235-2501 URL:<https://www.gchs.ac.jp/>



群馬県立県民健康科学大学

Vol.12/No.3 2025.3

地域連携・キャリア開発センター Newsletter

おもな事業の報告：

【看護師特定行為研修課程の群馬県及び他大学との連携 活動報告】

昨年度より群馬県健康福祉部医務課及び県内看護系2大学との共催により、県内の特定行為研修修了者（県内修了者）を対象にフォローアップ研修会を実施しています。目的は、県内修了者が高度な臨床実践能力を発揮できるよう自己研鑽を継続する機会及びネットワークを形成する機会の提供です。今年度は、第1回（11月）は実践報告及びグループワーク、第2回（1月）は栄養及び水分管理に関する臨床推論の講義を加え、多くの県内修了者にご参加いただきました。



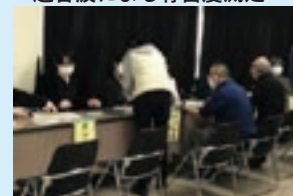
令和7年1月18日（土）会場：県庁
前橋赤十字病院 高度救命救急センター長
兼救急科部長 中村光伸先生の講義

【桂萱地区と「骨密度測定会」を共催】 12月1日（日）

桂萱地区地域づくり推進協議会事業の一環である「骨密度測定会」を桂萱公民館にて共催しました。骨密度が低下すると骨折しやすくなり、日常生活にも不便が生じ、様々な健康障害の原因になります。本学と桂萱公民館では骨密度を定期的に測定する事業を継続して行っています。本学教員及び学生ボランティアの皆さんにより骨密度の他に体重、血圧、肌水分量、血管年齢、体脂肪、血中酸素濃度などの測定も実施しました。今年度は89名と多くの近隣住民の皆様にご参加いただきました。



超音波による骨密度測定



お知らせ

◆令和7年度 無料講座・無料セミナーのご案内

【公開授業】前期開講3科目を県民のみなさんに公開しています（無料・要申込）

【看護研究セミナー】*

【対象者】群馬県内の保健医療関係職の方

【内容】第1回「看護研究計画書の作成」

第2回「看護研究における倫理と手続き」

第3回「看護研究のための文献検索と文献検討」

【個別支援成果報告・相談会】

開催日時：5月24日（土）11時30分～12時30分（対面開催）

【出前講座】健康に関する内容や医療従事者の業務に役立つ講座を用意しています

*オンデマンド配信

第3回は希望者のみ対面演習

5月24日（土）9：20～11：20



詳細は、HPを
ご覧ください。

学生・教職員の活動紹介：



左から手島瑠美さん、橋本玲奈さん、新井さくらさん

【群馬県母性衛生学会でのぴあサークル活動報告】 12月14日(土)

令和6年度群馬県母性衛生学会において、看護学部2年生の新井さくらさんが、「群馬県の医療系大学生による思春期ピア・エデュケーション活動について」をテーマに、在籍する「ぴあサークル」の活動報告を行いました。新井さんは、「ピア活動の幅を広げ、群馬県をピア活動が盛んな地域として発展させていきたい」と話していました。

【リレー・フォーライフ・ジャパン 2024ぐんま】 10月12日(土)-13日(日)



初開催から12年目となる標記イベントに学生・教職員34名がボランティアチームとして参加しました。当日は、チャリティーくじコーナーやドリンク販売などを担当したほか、がん検診や禁煙を呼びかける横断幕を手になんぞ圧に向けてリレーウォークにも参加しました。来年はさらに大勢のチームを組んで参加したいと思います。

【第28回 桃の木祭の開催】 10月26日(土)

今年も本学学園祭の桃の木祭を開催しました。当日は小さなお子さんからご高齢の方まで約400名の皆さまにご来場いただき、ビンゴ大会や射的、聴診体験、ダンスやバンド演奏などをお楽しみいただきました。近隣の皆さまには、バザーやスポーツ吹き矢コーナーの出展などで学園祭を盛り上げていただきました。パンケーキや喫茶コーナーなど学生による模擬店も復活し、楽しい一日となりました。



写真：左上から時計回り、仮装大会、実行委員パーカー、パンケーキ屋、がん予防啓発射的

学生・教職員の活躍

○第1種放射線取扱主任者試験に17名が合格

診療放射線学部3年生を中心に1年生を含む計17名が第1種放射線取扱主任者試験に合格しました。放射線取扱主任者は、放射線安全管理の統括責任者が所持すべき国家資格であり、3種類の資格（第1種、第2種、第3種）の中で第1種が最も難度が高い資格となります。

○保健事業等功労者知事表彰の受賞について

診療放射線学部の五十嵐博准教授が、2011年から一般社団法人群馬県診療放射線技師会役員として、群馬県内の診療放射線技師のがん検診における技術向上等に貢献していることが高く評価され、「保健事業等功労者知事表彰」を受賞しました。



○人命救助活動を行った看護学教員養成課程生について

看護学教員養成課程の泊博子さんが、スポーツ競技中に心肺停止状態となった男性に対し現場に居合わせた看護師と連携して救命活動を実施し、玉村町消防署長様より人命救助に貢献したとして感謝状が贈られました。治療を受けた男性は無事に回復し、現在は通常の生活を送っているそうです。



発行：群馬県立県民健康科学大学地域連携・キャリア開発センター 〒371-0052 群馬県前橋市上沖町323-1
TEL: 027-235-1211 FAX: 027-235-2501 URL: <http://www.gchs.ac.jp/>

Ⅱ

その他の 地域貢献活動

学会活動

【看護学部】

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時（期間）	実施場所	対象者	参加人数
教授	飯田 苗恵	日本看護科学学会 和文誌専任査読 委員	日本看護科学学会	令和6年度	—	—	—
教授	飯田 苗恵	日本難病看護学会 理事・代議員 教育推進委員会 委員長	日本難病看護学会	令和6年度	—	—	—
教授	飯田 苗恵	日本難病看護学会 難病看護認定実行委員会 委員	日本難病看護学会	令和6年度	—	—	—
教授	飯田 苗恵	日本在宅看護学会 研究倫理委員会 副委員長	日本在宅看護学会	令和6年度	—	—	—
教授	飯田 苗恵	難病看護オンラインセミナー「気道クリアランスと新しい吸引法」企画・運営・司会	日本難病看護学会	令和6年6月15日	Web	看護職等	約60名
教授	飯田 苗恵	第29回日本難病看護学会学術集会 座長	日本難病看護学会	令和6年8月24日	静岡	学術集会参加者	約40名
教授	飯田 苗恵	第29回日本難病看護学会学術集会 日本難病看護学会企画「防災・減災ネットワーク形成における地域別難病看護ネットワークの強化」コーディネート	日本難病看護学会	令和6年8月25日	静岡	学術集会参加者	約40名
教授	飯田 苗恵	第44回日本看護科学学会学術集会 ランチョンセミナー座長 「痛くない吸引と簡便さを両立した気道クリアランス手法『バキューミング』による医療の効率化」	日本看護科学学会 [栃木精工株式会社]	令和6年12月8日	熊本	学術集会参加者	約200名
教授	飯田 苗恵	難病看護オンラインセミナー「神経難病患者の災害への備え」 企画・運営・ファシリテーター	日本難病看護学会	令和6年12月14日	Web	看護職等	約60名
教授	大澤真奈美	日本産業衛生学会 代議員	日本産業衛生学会	令和6年度			
教授	大澤真奈美	日本看護科学学会 社員（代議員）	日本看護科学学会	令和6年度			
教授	大澤真奈美	日本看護科学学会 研究倫理審査委員会委員	日本看護科学学会	令和6年度			
教授	大澤真奈美	日本看護科学学会 和文誌編集委員会委員	日本看護科学学会	令和6年度			
教授	大澤真奈美	日本看護科学学会 和文誌専任査読委員	日本看護科学学会	令和6年度			
教授	大澤真奈美	日本地域看護学会 代議員	日本地域看護学会	令和6年度			
教授	大澤真奈美	日本地域看護学会誌 査読委員	日本地域看護学会	令和6年度			
教授	大澤真奈美	日本地域看護学会 第27回学術集会抄録査読委員	日本地域看護学会	令和6年度			
教授	大澤真奈美	日本公衆衛生看護学会 代議員	日本公衆衛生看護学会	令和6年度			
教授	大澤真奈美	日本公衆衛生看護学会誌 査読委員	日本公衆衛生看護学会	令和6年度			
教授	大澤真奈美	第13回日本公衆衛生看護学会学術集会 抄録査読委員	日本公衆衛生看護学会	令和6年度			
教授	大澤真奈美	日本ルーラルナース学会誌 査読委員	日本ルーラルナース学会	令和6年度			
教授	大澤真奈美	千葉看護学会誌 専任査読者	千葉看護学会	令和6年度			
教授	大澤真奈美	第55回日本看護学会学術集会 抄録査読委員	日本看護協会	令和6年度			
教授	狩野 太郎	群馬県がん看護研究会理事 地域貢献活動担当	群馬県がん看護研究会	令和6年度		看護師	
教授	狩野 太郎	日本がん看護学会 査読委員	日本がん看護学会	令和6年度		看護師	
教授	狩野 太郎	日本がん看護学会 ガイドライン委員会委員	日本がん看護学会	令和6年度		看護師	

職位	氏 名	活動・テーマ	主 催	実施日時（期間）	実施場所	対象者	参加人数
教授	狩野 太郎	第39回日本がん看護学会学術集会企画委員	日本がん看護学会	令和6年度		看護師	
教授	高井ゆかり	研究活動推進委員会委員	日本老年看護学会	令和6年度			
教授	高井ゆかり	理事	日本運動器疼痛学会	令和6年度			
教授	高井ゆかり	評議員	日本慢性疼痛学会	令和6年度			
教授	高井ゆかり	代議員 国際活動推進委員会委員 和文誌専任査読委員	日本看護科学学会	令和6年度			
教授	高井ゆかり	評議員 和文誌編集委員	日本看護研究学会	令和6年度			
教授	高井ゆかり	専任査読者	日本エンドオブライフケア学会	令和6年度			
教授	高井ゆかり	理事	日本認知症の人の緩和ケア学会	令和6年度			
教授	行田 智子	日本看護研究学会専任査読委員	日本看護研究学会	令和6年度	—	日本看護研究学会員	
教授	行田 智子	日本助産学会専任査読委員	日本助産学会	令和6年度	—	日本助産学会員	
教授	行田 智子	日本看護研究学会評議員	日本看護研究学会	令和6年度	—	日本看護研究学会員	
教授	行田 智子	日本看護研究学会50周年記念行事ワーキンググループ	日本看護研究学会	令和6年度	—	日本看護研究学会員	
教授	廣瀬規代美	日本がん看護学会 代議員	日本がん看護学会	令和6年度	東京	学会員	
教授	廣瀬規代美	日本がん看護学会 査読委員	日本がん看護学会	令和6年度	東京	学会員	
教授	廣瀬規代美	日本看護科学学会 和文誌専任査読委員	日本看護科学学会	令和6年度	東京	学会員	
教授	廣瀬規代美	日本看護研究学会 評議員	日本看護研究学会	令和6年度	東京	学会員	
准教授	金谷 悦子	日本看護教育学会理事	日本看護教育学会	令和6年度			
准教授	金谷 悦子	日本看護教育学会編集委員	日本看護教育学会	令和6年度			
准教授	金谷 悦子	日本看護教育学会専任査読者	日本看護教育学会	令和6年4月～令和7年3月			
准教授	金谷 悦子	日本看護教育学会第34回学術集会会長	日本看護教育学会	令和6年10月～令和7年3月			
准教授	上山 真美	日本プライマリ・ケア連合学会 編集委員会委員	日本プライマリ・ケア連合学会	令和6年度	Zoom、メール等	—	—
准教授	上山 真美	日本老年泌尿器科学会 評議員	日本老年泌尿器科学会	令和6年度	和歌山	—	—
准教授	上山 真美	日本看護リハビリテーション学会査読委員	日本看護リハビリテーション学会	令和6年度	メール等	—	—
准教授	上山 真美	日本創傷・オストミー・失禁管理学会査読委員	日本創傷・オストミー・失禁管理学会	令和6年度	メール等	—	—
准教授	上山 真美	高齢者排尿ガイドライン作成チームメンバー	日本看護科学学会	令和6年度	Zoom、メール等	—	—
准教授	上山 真美	日本看護科学学会 代議員	日本看護科学学会	令和6年度	対面等	—	—
准教授	上山 真美	看護師部会 看護学生・看護師キャリア支援部門委員	日本プライマリ・ケア連合学会	令和6年度	Zoom、メール等	—	—
准教授	上山 真美	日本看護リハビリテーション学会 第36回学術大会座長	日本看護リハビリテーション学会	令和6年11月3日	Web（ライブ配信・オンデマンド）	学会参加者	—
准教授	橋本 晴美	日本がん看護学会 代議員	日本がん看護学会	令和6年度			
准教授	橋本 晴美	日本がん看護学会 査読委員	日本がん看護学会	令和6年度			
准教授	橋本 晴美	日本看護科学学会 代議員	日本看護科学学会	令和6年度			
准教授	服部 美香	日本看護教育学会 理事	日本看護教育学会	令和6年度			
准教授	服部 美香	日本看護教育学会30周年記念誌 編集委員	日本看護教育学会	令和6年度			
准教授	服部 美香	日本看護教育学会 評議員	日本看護教育学会	令和6年度			
准教授	服部 美香	日本看護教育学会 編集委員	日本看護教育学会	令和6年度			

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時（期間）	実施場所	対象者	参加人数
准教授	服部 美香	日本看護教育学会第33回学術集会 企画委員・実行委員	日本看護教育学会	令和6年1月～令和6年10月	群馬	看護職者	約300名
講師	垣上 正裕	日本看護教育学会第33回学術集会 企画委員（会場係）	日本看護教育学会	令和6年8月24日	前橋	看護職者	
講師	久保 仁美	投稿論文査読	日本小児看護学会誌	令和6年度			
講師	高橋 裕子	編集委員	日本看護教育学会	令和6年度	—	—	—
講師	高橋 裕子	評議委員	日本看護教育学会	令和6年度	—	—	—
講師	高橋 裕子	理事	ぐんま思春期研究会	令和6年度	—	—	—
講師	高橋 裕子	日本看護教育学会第33回学術集会 企画委員・実行委員	日本看護教育学会	令和6年8月24日	前橋	看護職者	約300名
講師	高橋 裕子	ぐんま思春期研究会特別講演会 『なぜ自分を傷つけるの～自傷行為から見える子ども達の「今」そして「今」私たちにできること』	ぐんま思春期研究会	令和6年11月17日	群馬県立県民健康科学大学	看護職者・医師 養護教諭等	約100名
講師	富永 明子	日本看護教育学会 評議員	日本看護教育学会	令和6年度			
講師	富永 明子	日本看護教育学会 第33回学術集会 企画委員・実行委員	日本看護教育学会	令和6年8月24日	群馬県前橋市	医療職者	360名
助教	塩澤 麻子 高橋 裕子 (学)新井さくら	群馬県の医療系大学生による思春期ピア・エデュケーション活動について	群馬県母性衛生学会	令和6年度	群馬	医師、助産師、看護師、 養護教諭など	約100名
助教	和田 卓磨	令和6年度定例会 機器設置調整担当	日本看護教育学会	令和6年4月～令和7年3月 (年間8回開催)	群馬・千葉・東京	看護職者	約30名
助教	和田 卓磨	第33回学術集会企画委員・実行委員	日本看護教育学会	令和6年8月24日～9月11日 (オンライン配信期間含む)	群馬・オンライン	看護職者・看護学生	約300名

【診療放射線学部】

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時（期間）	実施場所	対象者	参加人数
教授	佐々木浩二	群馬放射線腫瘍研究会 世話人	群馬放射線腫瘍研究会	令和6年度	—	—	—
教授	佐々木浩二	日本医学物理学会 代議員	日本医学物理学会	令和6年度	—	—	—
教授	佐々木浩二	Journal of Radiation Research Associate Editor	The Japan Radiation Research Society and Japanese Society for Radiation Oncology	令和6年度	—	—	—
教授	佐々木浩二	Journal of Radiation Research 査読者	The Japan Radiation Research Society and Japanese Society for Radiation Oncology	令和6年度	—	—	—
教授	佐々木浩二	Radiological Physics and Technology 査読者	Japanese Society of Radiological Technology and Japan Society of Medical Physics	令和6年度	—	—	—
教授	佐々木浩二	群馬県放射線治療技術研究会 顧問	群馬県放射線治療技術研究会	令和6年度	—	—	—
教授	佐藤 哲大	電子情報通信学会論文誌D査読委員	電子情報通信学会	令和6年4月～令和7年3月	本学	投稿論文 学会員	のべ約300名
教授	瀨川 篤記	学会幹事	群馬臨床細胞学会	令和6年10月31日～11月3日	群馬県生涯学習センターほか 沖縄	医療従事者	2600名
教授	林 則天	第1回日本放射線医療技術学術大会 座長	日本放射線技術学会・日本診療放射線技師会	令和6年12月7日～8日	群馬	医療従事者	684名
教授	林 則天	第71回関東支部研究発表大会 座長	日本放射線技術学会				
教授	林 則天	日本放射線技術学会 編集委員会 副編集委員長	日本放射線技術学会	令和6年度			

職位	氏 名	活動・テーマ	主 催	実施日時 (期間)	実施場所	対象者	参加人数
教授	林 則夫	日本放射線技術学会 RPT 編集委員会 編集委員	日本放射線技術学会	令和6年度			
教授	林 則夫	日本放射線技術学会 代議員	日本放射線技術学会	令和6年度			
教授	林 則夫	日本放射線技術学会 学術推進員	日本放射線技術学会	令和6年度			
教授	林 則夫	医用画像情報学会 常務理事	医用画像情報学会	令和6年度			
教授	林 則夫	The International Society for MR Radiographers & Technologists (ISMRT) Annual Meeting Program Committee (AMPC) 委員	The International Society for MR Radiographers & Technologists (ISMRT)	令和6年度			
教授	林 則夫	研究会 幹事	群馬MR研究会	令和6年度			
教授	林 則夫	研究会 顧問	群馬Gyro Users Meeting	令和6年度			
教授	林 則夫	研究会 幹事	群馬CTMRI研究会	令和6年度			
教授	林 則夫	研究会 幹事	群馬MR医学研究会	令和6年度			
教授	林 則夫	Magnetic Resonance in Medical Sciences 誌 査読者	日本磁気共鳴医学会	令和6年度			
教授	林 則夫	Radiological Physics and Technology 査読者	日本放射線技術学会、日本医学物理学会	令和6年度			
教授	林 則夫	医用画像情報学会雑誌 副編集委員長	医用画像情報学会	令和6年度			
教授	林 則夫	医用画像情報学会雑誌 査読者	医用画像情報学会	令和6年度			
教授	原 孝光	世話人	福島県核医学研究会	令和6年度			
准教授	五十嵐 博	令和6年度 群馬県がん検診エックス線撮影従事者講習会の運営	一般社団法人群馬県診療放射線技師会	令和6年10月18日、 11月12日、12月10日	本学 公法財団法人群馬健康づくり財団	診療放射線技師	延73名
准教授	五十嵐 博	日本放射線カウンセリング学会 副会長・理事・倫理委員長・RC委員長、副編集委員長・査読委員・相談員	日本放射線カウンセリング学会	令和6年度	—	診療放射線技師	—
准教授	五十嵐 博	群馬県診療放射線技師会 会長	一般社団法人群馬県診療放射線技師会	令和6年度	—	診療放射線技師	—
准教授	五十嵐 博	日本診療放射線技師会 代議員・医療被ばく安全管理委員・放射線被ばく相談員分科会長・会誌査読委員・認定資格委員・地域委員会 全国地域連絡協議会/地域理事会議) 委員	公益社団法人日本診療放射線技師会	令和6年度	—	診療放射線技師	—
准教授	五十嵐 博	日本医療マネジメント学会 群馬県支部幹事	日本医療マネジメント学会群馬県支部	令和6年度	—	県内医療従事者	—
准教授	五十嵐 博	大山人間科学研究会 理事長	大山人間科学研究会	令和6年度	—	心理学研究者等	—
准教授	五十嵐 博	公益財団法人群馬県健康づくり財団 評議員	公益財団法人群馬県健康づくり財団	令和6年度	—	—	—
准教授	五十嵐 博	群馬県CT・MRI研究会 世話人	群馬県CT・MRI研究会	令和6年度	—	医師・診療放射線技師	—
准教授	川村 拓	日本診療放射線技師会査読者	日本診療放射線技師会	令和6年度	—	—	—
准教授	川村 拓	日本診療放射線技師会 臨床実習指導教育委員	日本診療放射線技師会	令和6年度	Web	—	8名
准教授	川村 拓	日本診療放射線技師会 臨床実習施設分科会委員	日本診療放射線技師会	令和6年度	Web	—	6名
准教授	川村 拓	Radiological Physics and Technology 誌 査読者	日本医学物理学会・日本放射線技術学会	令和6年度	—	—	—
准教授	川村 拓	Japanese Journal of Radiology 誌 査読者	日本医学放射線学会	令和6年度	—	—	—
准教授	川村 拓	研究会 幹事	群馬MR研究会	令和6年度	—	—	—
准教授	川村 拓	研究会 世話人	群馬Gyro Users Meeting	令和6年度	—	—	—
准教授	杉野 雅人	日本保健物理学会教員等協議会委員	日本保健物理学会	令和元年8月22日～	—	大学教員等	24名
准教授	渡部 晴之	医用画像情報学会 理事	医用画像情報学会	令和6年度			
准教授	渡部 晴之	第11回コニカミノルタ科学技術振興財団助成事業深層学習実践セミナー 運営・講師	医用画像情報学会	令和6年度	前橋 オンライン	大学教員、放射線技師、学生	35名

II-1. 学会活動

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時(期間)	実施場所	対象者	参加人数
講師	丸山 星	群馬県診療放射線技師会 理事	群馬県診療放射線技師会	令和6年度	-		
講師	丸山 星	日本放射線技術学会 標準・規格委員会 ワーキンググループ委員	日本放射線技術学会	令和6年度	-		
講師	丸山 星	日本放射線技術学会 計測部会委員会 診断領域量計標準センター	日本放射線技術学会	令和6年度	-		
講師	丸山 星	日本放射線技術学会 学術委員会 若手による若手の研究参加促進に関する検討班	日本放射線技術学会	令和6年度	-		
講師	丸山 星	群馬CT研究会 世話人	群馬CT研究会	令和6年度	-		
講師	丸山 星	第80回日本放射線技術学会総会学術大会 座長(画像工学(画質評価:CT))	日本放射線技術学会	令和6年4月14日	パシフィコ横浜	大学教員、診療放射線技師、学生	約100名
講師	丸山 星	第71回関東支部研究発表大会 当日実行委員	日本放射線技術学会	令和6年12月7日~8日	Gメッセ群馬	大学教員、診療放射線技師、学生	約500名
講師	丸山 星	日本放射線技術学会雑誌 論文特集号「腹部領域」エディタ	日本放射線技術学会	令和6年度			
講師	丸山 星	Radiological Physics and Technology誌 査読者	日本医学物理学会・日本放射線技術学会	令和6年度	-	2編	
講師	丸山 星	Biomedical Physics & Engineering Express誌 査読者	IOP Science	令和6年度	-	1編	
講師	丸山 星	Quantitative Imaging in Medicine and Surgery誌 査読者	AME Publishing Company	令和6年度	-	1編	
講師	丸山 星	Electronics誌 査読者	MDPI	令和6年度	-	1編	
講師	丸山 星	診療放射線学教育誌 査読者	日本診療放射線学教育学会	令和6年度	-	2編	
講師	米持 圭太	日本診療放射線技師会 教育委員	日本診療放射線技師会	-	-		
講師	米持 圭太	群馬県診療放射線技師会 常務理事・教育部長	群馬県診療放射線技師会	-	-		
講師	米持 圭太	群馬県診療放射線技師会 地区幹事・学術部員	群馬県診療放射線技師会	-	-		
講師	米持 圭太	群馬核医学研究会 世話人	群馬核医学研究会	-	-		
講師	米持 圭太	臨床画像診断懇話会テクニカル分科会 プログラム委員(世話人兼務)	臨床画像診断懇話会テクニカル分科会	-	-		
講師	米持 圭太	群馬CT研究会 世話人	群馬CT研究会	-	-		
講師	米持 圭太	診療放射線技師のためのフレイッシュャーズミナー(令和6年度)企画・運営・講師	日本診療放射線技師会	令和6年4月21日	群馬	診療放射線技師	14名
講師	米持 圭太	第73回群馬核医学研究会 企画	群馬県診療放射線技師会	令和6年5月21日	Web	医師・診療放射線技師	約50名
講師	米持 圭太	第5回群馬県臨床検査技師会群馬県診療放射線技師会合同勉強会 運営	群馬県臨床検査技師会、群馬県診療放射線技師会	令和6年6月6日	群馬	臨床検査技師、診療放射線技師	54名
講師	米持 圭太	群馬県診療放射線技師会超音波講習会 運営	群馬県診療放射線技師会	令和6年7月4日	群馬	診療放射線技師	24名
講師	米持 圭太	第38回臨床画像診断懇話会テクニカル分科会 企画	臨床画像診断懇話会テクニカル分科会	令和6年7月11日	群馬	診療放射線技師	約30名
講師	米持 圭太	令和3年厚生労働省告示第273号研修における実技研修プログラム(第1回群馬県開催)開催担当者	日本診療放射線技師会	令和6年7月27日	群馬	診療放射線技師	46名
講師	米持 圭太	令和3年厚生労働省告示第273号研修における実技研修プログラム(第2回群馬県開催)開催担当者	日本診療放射線技師会	令和6年7月28日	群馬	診療放射線技師	46名
講師	米持 圭太	群馬県診療放射線技師会超音波講習会 運営	群馬県診療放射線技師会	令和6年10月17日	群馬	診療放射線技師	19名
講師	米持 圭太	第6回群馬県臨床検査技師会群馬県診療放射線技師会合同勉強会 運営	群馬県臨床検査技師会、群馬県診療放射線技師会	令和6年11月7日	群馬	臨床検査技師、診療放射線技師	60名
講師	米持 圭太	令和3年厚生労働省告示第273号研修における実技研修プログラム(第3回群馬県開催)開催担当者	日本診療放射線技師会	令和6年11月16日	群馬	診療放射線技師	46名
講師	米持 圭太	令和3年厚生労働省告示第273号研修における実技研修プログラム(第4回群馬県開催)開催担当者	日本診療放射線技師会	令和6年11月17日	群馬	診療放射線技師	46名

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時(期間)	実施場所	対象者	参加人数
講師	米持 圭太	令和3年厚生労働省告示第273号研修における実技研修プログラム(第5回群馬県開催)開催担当者	日本診療放射線技師会 群馬県診療放射線技師会	令和7年1月25日	群馬	診療放射線技師	46名
講師	米持 圭太	令和3年厚生労働省告示第273号研修における実技研修プログラム(第6回群馬県開催)開催担当者	日本診療放射線技師会 群馬県診療放射線技師会	令和7年1月26日	群馬	診療放射線技師	45名
講師	米持 圭太	群馬県診療放射線技師会超音波講習会 運営	群馬県診療放射線技師会	令和7年2月20日	群馬	診療放射線技師	19名
助教	津野 隼人	日本放射線技術学会雑誌 査読者	日本放射線技術学会	令和6年度			
助教	津野 隼人	Radiological Physics and Technology 査読者	Japanese Society of Radiological Technology and Japan Society of Medical Physics	令和6年度			
助教	津野 隼人	Journal of Applied Clinical Medical Physics 査読者	Journal of Applied Clinical Medical Physics	令和6年度			
助教	津野 隼人	Radiation Protection Dosimetry 査読者	Radiation Protection Dosimetry	令和6年度			
助教	津野 隼人	北海道放射線治療技術研究会開催担当	北海道放射線治療研究会	令和6年度	札幌	診療放射線技師・医学物理士	約80名
助教	津野 隼人	世話人	北海道放射線治療研究会	令和6年度			
助教	津野 隼人	東京放射線治療技術研究会、7月開催担当	東京放射線治療技術研究会	令和6年度	東京	診療放射線技師・医学物理士	約40名
助教	津野 隼人	東京放射線治療技術研究会、10月開催担当	東京放射線治療技術研究会	令和6年度	東京	診療放射線技師・医学物理士	約40名
助教	津野 隼人	世話人	東京放射線治療技術研究会	令和6年度	東京		
助教	津野 隼人	広報委員	放射線治療品質管理士認定機構	令和6年度			
助教	津野 隼人	プログラム委員	北海道放射線治療ひよこ会(後援:函館放射線技師会)	令和6年度			
助教	津野 隼人	東京放射線治療技術研究会、9月座長	東京放射線治療技術研究会	令和6年度	東京	診療放射線技師・医学物理士	約30名
助教	津野 隼人	第14回 北海道放射線治療ひよこ会 開催担当	北海道放射線治療ひよこ会(後援:函館放射線技師会)	令和6年度	Web	診療放射線技師・医学物理士	約30名
助教	津野 隼人	第15回 北海道放射線治療ひよこ会 開催担当	北海道放射線治療ひよこ会(後援:函館放射線技師会)	令和6年度	Web	診療放射線技師・医学物理士	約30名

一般住民・団体対象の講演等

【看護学部】

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時(期間)	実施場所	対象者	参加人数
教授	狩野 太郎	めぶく。プラットフォーム前橋 公開講座 「認知症を知って接し方を学ぼう」	めぶく。プラットフォーム前橋	令和6年3月～令和7年3月	Web 配信	中高生、住民	視聴167回
教授	狩野 太郎	渋川市認知症サポーターズステップアップ研修講師	渋川市地域包括支援センター	令和6年10月2日、29日	渋川市青少年体育館 会議室	住民	約20名
准教授	櫻井 美和	小児慢性特定疾病児童等自立支援事業 「交流会」	前橋市保健所保健予防課	令和7年3月9日	前橋市第二コミュニティセンター	小児慢性特定疾病 児童等及び保護者	10名
講師	垣上 正裕	はたらく人のストレス	藤岡労働基準監督署	令和6年10月4日	みかばみらい館	建設会社社員	130名
講師	高橋 裕子	思春期ピアカウンセリング養成セミナー(前期コース)	群馬ピアカウンセリング研究会	令和6年6月29日、30日、7月6日、7日	高崎健康福祉大学	大学生	約40名
講師	高橋 裕子	思春期ピアカウンセリング養成セミナー(後期コース)	群馬ピアカウンセリング研究会	令和7年2月8日、9日	高崎健康福祉大学	大学生	約40名
助教	山岸 昌平	上田市職員向けゲートキーパー養成研修会	上田市役所健康推進課	令和6年10月29日	上田市役所	行政職員	約60名
助教	山岸 昌平	親子支援講座	上田市発達相談センター	令和7年3月27日	上田市発達相談センター	上田市民	約25名

【診療放射線学部】

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時 (期間)	実施場所	対象者	参加人数
教授	佐藤 哲大	MRIによる記憶機能検査の点数予測	沼田高校	令和6年12月3日	沼田高校	2年生	80名
教授	原 孝光	進路説明	明和県央高校	令和6年4月26日	明和県央高校	高校2、3年生	20名
教授	原 孝光	身近な放射線	樹徳高校	令和6年5月1日	樹徳高校	高校2、3年生	30名
教授	原 孝光	進路説明	群馬県内高校生	令和6年5月26日	ビエント高崎	高校生	
教授	原 孝光	進路説明	茨城県立境高校	令和6年5月29日	オンライン	高校2年生	30名
教授	原 孝光	進路説明	栃木県立足利高校	令和6年6月11日	栃木県立足利高校	高校1、2年生	20名
教授	原 孝光	診療放射線技師について	東京農業大学付属第二高校	令和6年7月2日	東京農業大学付属第二高校	高校2年生	10名
教授	原 孝光	進路説明	栃木県立足利高校	令和6年7月24日	栃木県立足利高校	高校1、2年生	4名
教授	原 孝光	進路説明	群馬県内高校生	令和6年12月16日	高崎商工会議所	高校生	
教授	原 孝光	進路説明	群馬県内高校生	令和7年3月13日	前橋元氣プラザ21	高校2年生	2名
教授	原 孝光	進路相談	埼玉県立本庄高校	令和7年3月17日	埼玉県立本庄高校	高校生	20名
助教	佐藤 充	これから始める生成AI ～上手な生成AIとの付き合い方～	群馬県立県民健康科学大学 第一回公開講座	令和6年8月24日	群馬県立県民健康科学大学	一般住民	約80名

保健医療専門職対象の講演等

【看護学部】

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時 (期間)	実施場所	対象者	参加人数
教授	飯田 苗恵	2024年度認定看護管理者教育課程 セカンドレベル 講師 「ヘルスケアシステム論Ⅱ」 【総合演習Ⅱ】	群馬県看護協会	令和6年6月21日、 9月20日	群馬県看護教育センター	看護管理者	25名
教授	飯田 苗恵	令和6年度難病療養支援従事者研修会 講師 「筋萎縮性側索硬化症 (ALS) 療養者のアセスメントについて」【事例検討】	群馬県健康福祉部	令和6年8月26日	本学第22講義室	保健所 保健師等	約15名
教授	飯田 苗恵	令和6年度訪問看護研修 (指導者編) 「指導方法と評価」 講師	群馬県看護協会	令和6年12月3日、 令和7年3月11日	群馬県看護教育センター	訪問看護師	9名
教授 講師 講師	飯田 苗恵 鈴木 美雪 佐々木馨子	令和6年度 難病・小児慢性特定疾病療養者の支援関係者による情報交換会「災害における事業所同志の連携を中心とした情報交換」アドバイザー	前橋市保健所保健予防課難病支援係	令和7年2月18日	前橋市保健センター	訪問看護師、介護 支援専門員等	約20名
教授 講師 講師	飯田 苗恵 鈴木 美雪 佐々木馨子	令和6年度難病療養支援者連絡会 「災害時個別プランと在宅人工呼吸療法の療養者への災害対策一停電対策について」アドバイザー、ファシリテーター	高崎市保健所	令和7年3月10日	高崎市総合保健センター	市内関連機関の保健・医療・福祉職	約20名
教授	大澤真奈美	新任保健師研修会「地域診断の実際」(前期) (後期) 講師	群馬県医師課看護係	令和6年8月26日、 令和7年3月13日	群馬県立県民健康科学大学	県内新任保健師	26名
教授	大澤真奈美	認定看護管理者教育課程「ファーストレベルヘルスケアシステム論Ⅰ」 講師	群馬県看護協会	令和6年9月5日	群馬県看護教育センター	看護職者	69名

職位	氏 名	活動・テーマ	主 催	実施日時（期間）	実施場所	対象者	参加人数
教授	狩野 太郎	令和6年ぐんま認定介護福祉士養成研修講師「研究方法」[研究活動について]	群馬県保健福祉部介護高齢課	令和6年6月20日、9月25日	群馬県社会福祉事業団特別養護老人ホーム明風園 研修室	介護福祉士	約25名
教授	狩野 太郎	令和6年度認定看護管理者制度ファーストレベル教育課程（看護情報論）	群馬県看護協会	令和6年10月24日、31日	群馬県看護教育センターおよびWeb配信	看護師	69名
教授	狩野 太郎	実践現場におけるガイドライン活用成果と課題	第39回日本がん看護学会学術集会	令和7年2月22日	札幌市教育文化会館	看護師	約200名
教授	狩野 太郎	化学療法による味覚変化について考えよう！味覚変化の支援や多職種連携をどうしていますか？	第39回日本がん看護学会学術集会	令和7年2月22日	札幌市教育文化会館	看護師	約160名
教授	清水 裕子	認定看護管理者教育課程セカンドレベル「組織マネジメントの実践」	群馬県看護協会	令和6年7月8日、12日、13日	群馬県看護教育センター	県内看護職者	25名
教授	清水 裕子	教育担当者研修「教育に関する基礎知識」	群馬県看護協会	令和6年11月12日	群馬県看護教育センター	県内看護職者	20名
教授	清水 裕子	サンピエール病院「中間管理職の役割」	サンピエール病院	令和6年11月16日	サンピエール病院	院内職員	35名
教授	清水 裕子	「文献の読み方～研究成果の活用の視点から文献を読んでもよう～」	群馬がん看護研究会	令和7年1月25日	群馬県立県民健康科学大学	県内看護職者	8名
教授	行田 智子	養育支援訪問員の養成講座 家族の強みと課題の評価～支援計画の立て方～	HEALTHY FAMILY はままつ	令和6年9月21日	静岡県浜松市ヘルシーはままつ事務局	看護職、保育士等	4名
教授	行田 智子	産後ケア事業実施における技術習得のための研修 [妊産期から切れ目ない支援に向けた関わりと役割]	高崎市保健所健康課母子保健担当	令和7年1月29日	高崎市総合保健センター	看護職、産後ケアに関わる職員	30名
教授	行田 智子 宮崎有紀子	看護研究データの分析～データ分析をしてみよう～	公益社団法人群馬県看護協会	令和6年9月2日	群馬県看護協会	看護職	50名
教授	廣瀬親代美	文献の読み方－研究成果の活用から文献を読んでもよう－	群馬がん看護研究会教育委員会	令和7年1月25日	群馬県立県民健康科学大学	県内看護師	15名
准教授	清水 裕子	看護研究個別支援	群馬県立県民健康科学大学 地域連携センター	令和6年6月～令和7年3月	群馬県立県民健康科学大学	看護師	4名
准教授	浅見 優子	看護研究に関する研修及び研究発表会	公立館林厚生病院	令和6年5月～令和7年3月	公立館林厚生病院	看護師	15～20名
准教授	金谷 悦子	総会講演：病院に就業する中堅・ベテラン看護師の学習二ードと研修への動機づけ	宮城県看護協会	令和6年5月11日	宮城県看護協会（ハイブリッド）	宮城県看護協会員	約100名
准教授	上山 真美	看護学実習指導者養成講習会講師：実習評価	群馬県立県民健康科学大学	令和6年8月8日	群馬県立県民健康科学大学・多目的ホール	看護職者	約50名
准教授	服部 美香	院内教育担当者研修講師：院内研修の評価－効果的な研修の実現に向けて－	独立行政法人国立病院機構北海道東北グループ	令和6年9月25日	Web	院内教育担当者	約30名
准教授	服部 美香	研修講師：初めての看護研究	新潟県看護協会	令和6年10月30日	新潟県看護協会	看護職者	約30名
准教授	服部 美香	認定看護管理者ファーストレベル講師：統合演習Ⅰ	群馬県看護協会	令和6年11月6日～11月27日	群馬県看護協会	看護職者	約160名
准教授	服部 美香	看護管理者研修会講師：主体的に学ぶ中堅・ベテラン看護師の育成を目指して	赤十字医療施設東北ブロック 群馬県児童福祉課 群馬大学医学部附属病院地域医療研究・教育センター 群馬大学大学院保健学研究科小児看護学研究室	令和6年12月21日	Web	看護職者	約180名
講師	久保 仁美	令和6年度医療的ケア児等支援に関わる看護研修		令和6年8月26日、28日	群馬大学医学部附属病院第1スキルラボセンター	訪問看護師 障害児通所支援 事業所看護師	計40名

II-3. 保健医療専門職対象の講演等

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時(期間)	実施場所	対象者	参加人数
講師	佐々木馨子	訪問看護師養成研修(ステップ1)訪問看護過程	群馬県看護協会	令和6年8月7日、28日	群馬県看護協会	看護職	16名
講師	佐藤 正樹	日本診療放射線技師会 令和3年厚生労働省告示第273号研修(静脈路確保行為の実技)	群馬県診療放射線技師会	令和6年11月16日	群馬県立県民健康科学大学	診療放射線技師	約60名
講師	塩ノ谷朱美	令和6年度茨城県地域保健関係職員研修会 テーマ「保健師記録の書き方」	茨川保健福祉事務所	令和7年1月7日	茨川市保健センター	茨川保健福祉事務所管内の保健師	37名
講師	鈴木 美雪	令和6年度難病対策担当者研修会 難病療養者支援における保健所保健師の役割	群馬県健康福祉部 感染症・疾病対策課 難病対策係	令和6年8月26日	本学 第22講義室	保健師	約15名
講師	鈴木 美雪	令和6年度地域保健関係職員研修(実践力アップ事例検討会)	群馬県桐生保健福祉事務所	令和6年11月19日	桐生保健福祉事務所	保健師	約30名
講師	鈴木 美雪	令和6年度難病対策担当者研修会 難病療養者支援における地区把握に基づいた事業展開と事業評価について	群馬県健康福祉部 感染症・疾病対策課 難病対策係	令和6年11月20日	群馬県庁	保健師	約15名
講師	鈴木 美雪	令和6年度東毛ブロック難病患者療養支援実務者研修会 在宅人工呼吸療法の療養者への災害対策-停電対策について	群馬県伊勢崎保健福祉事務所	令和6年11月8日	東毛産業技術センター	訪問看護師、介護支援専門員等	約100名
講師	鈴木 美雪	令和6年度地域保健関係職員研修(実践力アップ事例検討会)	群馬県館林保健福祉事務所	令和7年1月24日	館林保健福祉事務所	保健師	約20名
講師	鈴木 美雪	令和6年度難病対策担当者研修会 事例検討会	群馬県健康福祉部 感染症・疾病対策課 難病対策係	令和7年3月10日	群馬県庁	保健師	約15名
講師	高橋 裕子	高校生が性に関して悩んでいること・知りたいと思うこと-群馬県内の高校生の性意識・性に関する悩みの調査結果から-	ぐんま思春期研究会	令和7年2月1日	群馬県立県民健康科学大学	看護教諭 看護職者 大学生	約20名
助教	塩澤 麻子	令和3年度厚生労働省告示第273号・第274号研修	日本診療放射線技師会	令和6年度	群馬県立県民健康科学大学	臨床放射線技師	約40名
助教	福田 未来	群馬県看護協会研修 看護職員認知症対応力向上研修	群馬県看護協会	令和6年度	群馬	看護師	約100名
助教	福田 未来	令和3年度厚生労働省告示第273号研修	日本診療放射線技師会	令和6年度	群馬	放射線技師	約50名
助教	山岸 昌平	ストレスとの上手なつきあい方	社会福祉法人 りんどうの会	令和7年2月7日、27日	社会福祉法人 りんどうの会	福祉施設所職員	約60名
助教	和田 卓磨	認定看護管理者教育課程ファーストレベル 「総合演習」ファシリテーター	群馬県看護協会	令和6年11月6日、7日、11日、20日、27日	群馬県看護協会	看護職者	約70名

【診療放射線学部】

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時(期間)	実施場所	対象者	参加人数
准教授	五十嵐 博	入会案内	日本診療放射線技師会・群馬県診療放射線技師会	令和6年4月21日	本学 大講義室	診療放射線技師	14名
准教授	五十嵐 博	傾聴訓練指導	公益社団法人日本診療放射線技師会	令和6年5月26日	Web開催	診療放射線技師	55名
准教授	五十嵐 博	傾聴訓練指導	公益社団法人日本診療放射線技師会	令和6年7月21日	Web開催	診療放射線技師	50名
准教授	五十嵐 博	閉会挨拶	群馬CT・MRI研究会	令和6年8月31日	前橋ロイヤルホテル	医師・診療放射線技師	56名
准教授	五十嵐 博	傾聴の技法とそのポイント	日本放射線カウンセリング学会	令和6年9月8日	Web開催	診療放射線技師	18名
准教授	五十嵐 博	放射線カウンセラ-について	日本放射線カウンセリング学会	令和6年9月8日	Web開催	診療放射線技師	18名
准教授	五十嵐 博	被ばく相談の現状と対応のポイント	第1回日本放射線医療技術学術大会	令和6年11月2日	湘コングベンションセンター	診療放射線技師	100名

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時(期間)	実施場所	対象者	参加人数
准教授	五十嵐 博	傾聴訓練指導	公益社団法人日本診療放射線技師会	令和6年12月1日	Web開催	診療放射線技師	31名
准教授	五十嵐 博	放射線被ばく相談の次世代への新しい可能性を探る～関連団体との連携～	日本放射線カウンセリング学会	令和7年2月1日	Web開催	診療放射線技師	39名
准教授	五十嵐 博	放射線被ばく相談員分科会の紹介	公益社団法人日本診療放射線技師会	令和7年2月16日	Web開催	診療放射線技師	82名
准教授	五十嵐 博	傾聴訓練指導	公益社団法人日本診療放射線技師会	令和6年2月18日	Web開催	診療放射線技師	60名
准教授	五十嵐 博	告示研修 ファシリテーター	公益社団法人日本診療放射線技師会	令和6年7月27日、 7月28日、11月16日、 11月17日、令和7年 1月25日、1月26日	本学多目的ホールほか	診療放射線技師	延275名
准教授	渡部 晴之	放射線について	学校法人橘心会 幸手看護専門学校	令和6年5月14日	幸手看護専門学校	学生	36名
講師	丸山 星	講演「医療安全のためのテキストマイニングの活用」	館林地区診療放射線技師勉強会	令和7年3月7日	慶友整形外科病院 ホール	診療放射線技師	約20名
講師	米持 圭太	診療放射線技師のためのフレッシュャーズセミナー(令和5年度)「エチケット・マナー講座」	日本診療放射線技師会 群馬県診療放射線技師会	令和6年4月21日	群馬県立県民健康科学大学	診療放射線技師	14名
講師	米持 圭太	診療放射線技師のためのフレッシュャーズセミナー(令和5年度)「医療コミュニケーション」	日本診療放射線技師会 群馬県診療放射線技師会	令和6年4月21日	群馬県立県民健康科学大学	診療放射線技師	14名
講師	米持 圭太	診療放射線技師のためのフレッシュャーズセミナー(令和5年度)「医療被ばくの現状とその低減に向けた取り組み」	日本診療放射線技師会 群馬県診療放射線技師会	令和6年4月21日	群馬県立県民健康科学大学	診療放射線技師	14名
講師	米持 圭太	令和3年厚生労働省告示第273号研修における実技研修プログラム(第1回群馬県開催) ファシリテーター	日本診療放射線技師会 群馬県診療放射線技師会	令和6年7月27日	群馬県立県民健康科学大学	診療放射線技師	46名
講師	米持 圭太	令和3年厚生労働省告示第273号研修における実技研修プログラム(第2回群馬県開催) ファシリテーター	日本診療放射線技師会 群馬県診療放射線技師会	令和6年7月28日	群馬県立県民健康科学大学	診療放射線技師	46名
講師	米持 圭太	令和3年厚生労働省告示第273号研修における実技研修プログラム(第3回群馬県開催) ファシリテーター	日本診療放射線技師会 群馬県診療放射線技師会	令和6年11月16日	群馬県立県民健康科学大学	診療放射線技師	46名
講師	米持 圭太	令和3年厚生労働省告示第273号研修における実技研修プログラム(第4回群馬県開催) ファシリテーター	日本診療放射線技師会 群馬県診療放射線技師会	令和6年11月17日	群馬県立県民健康科学大学	診療放射線技師	46名
講師	米持 圭太	令和3年厚生労働省告示第273号研修における実技研修プログラム(第5回群馬県開催) ファシリテーター	日本診療放射線技師会 群馬県診療放射線技師会	令和7年1月25日	群馬県立県民健康科学大学	診療放射線技師	46名
講師	米持 圭太	令和3年厚生労働省告示第273号研修における実技研修プログラム(第6回群馬県開催) ファシリテーター	日本診療放射線技師会 群馬県診療放射線技師会	令和7年1月26日	群馬県立県民健康科学大学	診療放射線技師	45名
助教	佐藤 充	核医学領域でのAI研究のススメ	群馬県核医学技術懇話会	令和6年12月13日	群馬県立県民健康科学大学	診療放射線技師、 教員、研究者	50名程度
助教	津野 隼人	放射線治療に従事する医師、診療放射線技師への教育	前橋赤十字病院	令和6年度	前橋赤十字病院	医師、診療放射線 技師、医学物理士	

行政組織での活動

【看護学部】

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時（期間）	実施場所	対象者	参加人数
教授	飯田 苗恵	前橋市特別養護老人ホーム等設置法人選定委員会 副委員長	前橋市	令和6年度	前橋市役所	—	—
教授	大澤真奈美	群馬県開発審査会 委員	群馬県県土整備部建築課	令和6年度	群馬県庁	—	—
教授	大澤真奈美	群馬県建築審査会 会長代理	群馬県県土整備部建築課	令和6年度	群馬県庁	—	—
教授	大澤真奈美	群馬県廃棄物処理施設等専門委員会 委員	群馬県廃棄物・リサイクル課	令和6年度	群馬県庁	—	—
教授	大澤真奈美	群馬県公害審査会 委員	群馬県環境森林部環境保全課	令和6年度	群馬県庁	—	—
教授	大澤真奈美	群馬県保健師人材育成推進会議	群馬県健康福祉部医務課看護係	令和6年度	群馬県庁	—	—
教授	大澤真奈美	前橋市食育推進会議 会長	前橋市健康増進課	令和6年度	前橋市保健センター	—	—
教授	大澤真奈美	前橋市介護保険認定審査会 委員	前橋市介護保険課	令和6年度	前橋市役所	—	—
教授	大澤真奈美	前橋市自立支援給付認定審査会 委員	前橋市障害福祉課	令和6年度	前橋市保健所	—	—
教授	狩野 太郎	群馬県がん対策協議会がん対策推進計画検討部会 委員	群馬県保健福祉部感染症・がん疾病対策課	令和6年4月～令和7年3月	群馬県庁	—	—
教授	狩野 太郎	群馬県がん診療連携拠点病院連絡協議会市民講座企画ワーキングメンバー	群馬県／群馬県診療連携拠点病院連絡協議会	令和6年7月～12月	群馬大学医学部附属病院	患者・一般市民	Web配信
教授	高井ゆかり	群馬県高齢介護施設推進協議会委員	群馬県高齢介護課	令和6年度			
教授	行田 智子	予防的支援推進とうきょうモデル事業アドバイザリーボード委員	東京都医学総合研究所	令和6年4月～令和7年3月	東京都	看護職、心理士、ソーシャルワーカー等	—
教授	宮崎有紀子	群馬県衛生環境研究所倫理委員会 委員	群馬県衛生環境研究所	令和6年4月～令和7年3月	—	—	—
教授	宮崎有紀子	群馬県健康福祉部医学系研究等に係る倫理委員会 委員	群馬県健康福祉部健康福祉課	令和6年9月～令和7年3月	—	—	—
准教授	上山 真美	前橋市認知症初期集中支援チーム	前橋市長寿包括ケア課	令和6年度	前橋市包括支援センター西部等 対面／リモート等	—	—
准教授	櫻井 美和	小児慢性特定疾病児童等自立支援事業 [交流会]	前橋市保健所保健予防課	令和7年3月9日	前橋第二コミュニティセンター		
講師	垣上 正裕	中堅看護教諭資質向上研修	群馬県	令和6年10月23日	群馬県総合教育センター	看護教諭	36名
講師	垣上 正裕	高校中堅教諭資質向上研修	群馬県	令和6年11月	オンデマンド動画	高校教諭	82名
講師	垣上 正裕	明和町職員メンタルヘルス研修	明和町	令和7年3月17日	明和町役場	役場職員	200名
講師	塩ノ谷朱美	前橋市健康づくり推進協議会	前橋市健康増進課	令和6年4月～令和7年3月			
講師	塩ノ谷朱美	前橋市環境審議会	前橋市環境政策課	令和6年4月～令和7年3月			
講師	塩ノ谷朱美	群馬県若い世代食育推進協議会	群馬県健康福祉部健康長寿社会づくり推進課	令和6年4月～令和7年3月			
講師	坪井 りえ	榛東村第9期介護保険事業計画及び高齢者福祉計画策定委員	群馬県榛東村健康保険課	令和6年7月25日（実習のため不参加、後日書面確認のみ）	榛東村役場		

【診療放射線学部】

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時(期間)	実施場所	対象者	参加人数
教授	佐々木浩二	放射線治療品質管理委員会 委員	愛知県がんセンター	令和6年度	—	—	—
教授	佐々木浩二	放射線・陽子線治療品質管理委員会 委員	静岡県立静岡がんセンター	令和6年度	—	—	—
教授	下瀬川正幸	大学入試ミスマス再発防止検討委員会委員長	茨城県	令和6年6月～11月	—	—	—
教授	瀬川 篤記	診療(病理診断)の支援	桐生厚生総合病院	令和6年4月～令和7年3月	桐生厚生総合病院	患者様	約350例
教授	原 孝光	量子科学技術研究開発機構 量子ビーム科学研究部門 高崎量子応用研究所 協力研究員	量子科学技術研究開発機構 量子ビーム科学研究部門 高崎量子応用研究所	令和6年度	量子科学技術研究開発機構 量子ビーム科学研究部門 高崎量子応用研究所	—	—
准教授	五十嵐 博	ぐんま地域医療会議 構成員	群馬県医務課	令和6年4月～令和7年3月	—	—	—
准教授	川村 拓	量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所 協力研究員	量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所	令和6年度	—	—	—
准教授	川村 拓	国立研究開発法人 理化学研究所 客員研究員	国立研究開発法人 理化学研究所	令和6年度	—	—	—
准教授	杉野 雅人	前橋市放射線管理アドバイザー	前橋市環境部環境森林課	令和6年4月～令和7年3月	—	—	—
准教授	杉野 雅人	みどり市放射線対策アドバイザー	みどり市市民部生活環境課	令和6年4月～令和7年3月	—	—	—
准教授	杉野 雅人	川場村放射線対策アドバイザー	川場村役場むらづくり振興課	令和6年4月～令和7年3月	—	—	—
助教	佐藤 充	協力研究員	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 高崎量子応用研究所	令和6年度	高崎量子応用研究所	—	—

任意団体での活動

【看護学部】

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時(期間)	実施場所	対象者	参加人数
助教	飯田 苗恵 鈴木 美雪 佐々木馨子 鈴木 恵理 高橋 佳織	研修会の企画・運営 「低侵襲な新しい喀痰吸引法」 ・カテーテルを挿入しない低侵襲性喀痰吸引法『バキューミング』の考え方: 神戸大学 未来医学研究開発センター 客員准教授 石北直之氏 ・低侵襲な美級内吸引チップによる喀痰吸引の実験:株式会社ナースあい 代表取締役 多田真寿美氏	群馬県内看護職自主グループ 「難病看護を考える会」	令和7年3月22日	本学多目的ホール	看護職、 コメディカル	約40名
教授	大澤真奈美	地域/公衆衛生看護学教育方法の開発	大学間連携による地域看護学教育FD戦略会議	令和6年度	開催当番大学等	大学教員 (全国12大学)	約20名
教授	狩野 太郎	群馬県がん患者団体連絡協議会 運営委員	群馬県がん患者団体連絡協議会	令和6年4月～7年3月	群馬県健康づくり財団	患者	—
教授	狩野 太郎	ホリデーインまえばし カンパッジ製作ブース出展・本学ボランティアサークル	ホリデーインまえばし実行委員会	令和6年8月25日	前橋敷島公園	一般市民	400名

II-5. 任意団体での活動

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時(期間)	実施場所	対象者	参加人数
教授	狩野 太郎	リレーフォーライフジャパン2024ぐんま副実行委員長	日本対がん協会、リレーフォーライフジャパンぐんま実行委員会	令和6年10月12日～13日	ALSOK ぐんま総合スポーツセンター	患者・一般市民(ほか)	5000名
教授	狩野 太郎	群馬県がん患者ミーティング2025企画・運営	群馬県がん患者団体連絡協議会	令和7年2月1日	本学大講義室	患者・一般市民	30名
教授	清水 裕子	群馬がん看護研究会 理事兼教育委員	群馬がん看護研究会	令和6年度	—	—	—
教授	清水 裕子	リレー・フォー・ライフ・ジャパンぐんま副実行委員会監事	リレー・フォー・ライフ・ジャパンぐんま実行委員会	令和6年度	—	—	—
教授	行田 智子	看護・助産教育支援フォーラム	倫理委員	令和6年度	—	—	—
教授	廣瀬規代美	群馬がん看護研究会 理事兼教育委員会委員長	群馬がん看護研究会	令和6年度	群馬大学他	会員等	—
教授	廣瀬規代美	リレーフォーライフジャパン2024	群馬がん看護研究会	令和6年度	—	—	—
教授	廣瀬規代美	第20回群馬がん看護フォーラム	群馬がん看護研究会	令和6年6月29日	群馬大学他	会員等	約80名
准教授	鶴生川恵美子	中学生の学修支援	NPO 教育支援協会北関東	令和6年4月～令和7年3月	前橋 東公民館	中学生	約10名
准教授	上山 真美	群馬コンチネンスフォーラム	群馬コンチネンスフォーラム幹事	令和6年度	対面+リモート開催	医療関係者	約40名
講師	垣上 正裕	全労働省組合関東地方協議会 ストレス対処法	厚労省	令和6年7月20日	新潟県	厚労省職員	72名
講師	垣上 正裕	めぶくビジネススクール	前橋市他	令和7年2月8日	前橋工科大学	企業経営者	約30名
講師	小西 美里	第28回北関東精神保健看護研究会 語ろう！『～今、現場でできること～ピアサポーターのリカバリーストーリーを聞いて』	北関東精神保健看護研究会	令和6年12月14日	群馬大学 刀城会館	—	30名
講師	佐藤 正樹	事務担当理事	群馬県立県民健康科学大学看護学部同窓会	令和6年度	—	—	—
講師	島田 葉子	館林市ふるさとづくり市民フェスティバル	館林市教育委員会 生涯学習課 (日本アンガーマネジメント協会)	令和6年5月26日	館林市文化会館	—	—
講師	島田 葉子	医師が行うマタニティヨガ&健康マルシェ	NPO法人ぎびる(運営委員として参加)	令和6年9月14日	県庁	—	約20名
講師	島田 葉子	医師が行う乳がん啓蒙活動 [知ることから始めよう～乳がんについて]	NPO法人ぎびる(運営委員として参加)	令和6年10月6日	県庁	—	約20名
講師	高橋 裕子	大学生によるピアエデュケーション [You & me - 相手は？自分は？どんな気持ち？ -]	群馬ピアカウセンリング研究会	令和6年9月19日	群馬県立聾学校	高校生	30名
講師	高橋 裕子	大学生によるピアエデュケーション [正しい知識を持って自分らしい選択を]	群馬ピアカウセンリング研究会	令和6年12月19日	群馬県立太田フレックス高等学校	高校生	60名
講師	高橋 裕子	大学生によるピアエデュケーション [みんなで知ろうからだときもちー思春期に起こる成長と変化ー]	群馬ピアカウセンリング研究会	令和7年3月21日	群馬県立梅田中学校	中学生	28名
講師 助教	高橋 裕子 塩澤 麻子	第1回群馬ブラットフォーラム連絡会 [未来の自分へ送る 自分らしく生きるためのヒント]	日本女性財団、群馬ピアカウンセリング研究会	令和7年3月24日	高崎健康福祉大学	中高生、大学生、一般	80名
講師	富永 明子	群馬県立県民健康科学大学看護学部同窓会 理事	群馬県立県民健康科学大学看護学部同窓会	—	—	—	—

【診療放射線学部】

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時(期間)	実施場所	対象者	参加人数
教授	佐々木浩二	放射線治療品質管理委員会 外部委員	社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院	令和6年度	—	—	—
教授	下瀬川正幸	大学機関別認証評価 評価委員	一般財団法人大学教育質保証・評価センター	令和6年度	—	—	—
教授	下瀬川正幸	全国診療放射線技師教育施設協議会役員会理事(総務担当)	全国診療放射線技師教育施設協議会	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日	Web、福岡市	大学教員	10名
教授	下瀬川正幸	第69回全国診療放射線技師教育施設協議会定時総会 総合同会	全国診療放射線技師教育施設協議会	令和6年6月28日	福岡ガーデンパレス(福岡市)	大学教員等	約100名
教授	瀬川 篤記	金属アーク溶接等作業主任者技能講習	建設業労働災害防止協会	令和6年5月～令和7年3月	群馬建設会館	溶接作業従事者	のべ約50名
准教授	五十嵐 博	群馬県環境アドバイザー	群馬県環境アドバイザー協会	令和6年度	—	—	—
准教授	川村 拓	桃の木リバーを愛する会：花壇苗植え	桃の木リバーを愛する会	令和6年6月21日	桃の木川	—	—
准教授	川村 拓	桃の木リバーを愛する会：花壇および周囲草刈り等	桃の木リバーを愛する会	令和6年9月6日	桃の木川	—	—
准教授	川村 拓	桃の木リバーを愛する会：花壇苗植え	桃の木リバーを愛する会	令和6年11月20日	桃の木川	—	—
准教授	杉野 雅人	社会福祉法人 明正会 外部評議員	社会福祉法人 明正会	令和6年4月～令和7年3月	—	—	10名
准教授	杉野 雅人	第49回群馬県教育ギター・マンドリン連盟定期演奏会	群馬県教育ギター・マンドリン連盟	令和6年9月16日	群馬県生涯学習センター多目的ホール	一般	約100名
准教授	杉野 雅人	福祉施設におけるボランティア演奏	社会福祉法人 日輪	令和6年12月23日	社会福祉法人 日輪	一般	約30名
准教授	高田 健太	学際交流委員会委員	日本医学物理学会	令和6年度	—	—	—
准教授	高田 健太	実行委員	第129回日本医学物理学会学術大会	令和6年度	—	—	—
准教授	高田 健太	編集委員長	日本医学物理学会診療放射線学教育学会	令和6年度	—	—	—
准教授	高田 健太	教育コース認定委員会委員	一般財団法人医学物理士認定機構	令和6年度	—	—	—
講師	丸山 星	診療放射線技師国家試験模擬試験問題・解説の作成(医用工学)	株式会社シーイー・フォックス	令和6年度	—	—	—
講師	丸山 星	診療放射線技師国家試験模擬試験問題・解説の作成(画像工学)	株式会社シーイー・フォックス	令和6年度	—	—	—
講師	丸山 星	学生部長	群馬県立県民健康科学大学 診療放射線学部 同窓会	令和6年度	—	—	—
助教	佐藤 充	群馬県核医学技術懇話会 実行委員	群馬県核医学技術懇話会	令和6年度	群馬県立県民健康科学大学	診療放射線技師、教員、研究者	—
助教	佐藤 充	コミカミノルタ科学技術振興財団助成事業 深層学習実践セミナー 講師	医用画像情報学会	令和6年度	群馬県立県民健康科学大学	診療放射線技師、教員、研究者	35名程度
助教	佐藤 充	第71回関東支部研究発表大会実行委員	日本放射線技術学会	令和6年6月～12月	Gメッセ群馬	診療放射線技師、教員、研究者	—
助教	佐藤 充	第42回日本核医学技術学会関東地方会総会 学術副委員長	日本核医学技術学会	令和7年2月～現在まで	群馬大学	診療放射線技師、教員、研究者	—
助教	津野 隼人	第127回日本医学物理学会・倫理審査委員	日本医学物理学会	令和6年度	—	—	—
助教	津野 隼人	ICRPT 3rd 演題倫理審査委員	日本医学物理学会、日本放射線技術学会	令和6年度	—	—	—
助教	津野 隼人	第127回日本医学物理学会、報文集編集	日本医学物理学会	令和6年度	—	—	—

他教育機関非常勤講師

【看護学部】

職位	氏名	活動・テーマ (科目名等)	主催	実施日時 (期間)	実施場所	対象者	参加人数
教授	大澤真奈美	公衆衛生学 非常勤講師	上尾中央看護専門学校	令和6年度春期集中	上尾中央看護専門学校	看護学生	約100名
教授	大澤真奈美	公衆衛生学 非常勤講師	新潟薬科大学	令和6年度夏期集中	新潟薬科大学	看護学生	約80名
教授	大澤真奈美	産業保健 非常勤講師	定利大学看護学部	令和6年9月～10月	定利大学看護学部	看護学生	約70名
教授	狩野 太郎	東群馬看護専門学校非常勤講師 (看護と情報科学)	東群馬看護専門学校	令和6年4月～8月	東群馬看護専門学校	看護学生	70名
教授	狩野 太郎	本庄児玉看護専門学校非常勤講師 (研究の基礎・文献検索入門・研究方法論 (1) 調査・実験研究)	本庄児玉看護専門学校	令和6年12月2日	本庄児玉看護専門学校	看護学生	20名
教授	高井ゆかり	非常勤講師・「看護学研究概論」	群馬大学大学院	令和6年5月29日、6月26日	リモートでの講義	博士後期課程学生	
教授	行田 智子	妊娠期の助産診断技術学	高崎健康福祉大学大学院	令和6年4月1日～9月22日	高崎健康福祉大学大学院	助産専攻院生	5名
教授	宮崎有紀子	疫学	群馬パース大学	令和6年4月1日～9月30日	群馬パース大学	看護学生	約80名
教授	宮崎有紀子	疫学	高崎健康福祉大学	令和6年9月24日～令和7年3月31日	高崎健康福祉大学	看護学生	111名
准教授	鶴生川恵美子	医療英語	前橋東看護学校	令和6年4月25日～9月12日	前橋東看護学校	看護学生	約24名
准教授	鶴生川恵美子	放送大学・面接授業:「文学と映画で学ぶ英語と文化2」	放送大学・群馬学習センター	令和6年6月1日～2日	放送大学・群馬学習センター	一般	18名
准教授	鶴生川恵美子	英語文学	育英短期大学	令和6年9月27日～令和7年1月24日	育英短期大学	大学生	12名
准教授	橋本 晴美	看護学特別セミナー	群馬大学大学院保健学研究科	令和6年7月13日	群馬大学	保健学研究科学生	15名
准教授	服部 美香	看護研究	深谷大里看護専門学校	令和6年4月～5月	深谷大里看護専門学校	看護学生	約40名
准教授	服部 美香	看護教育学	新潟県立看護大学大学院	令和6年10月～令和7年1月	新潟県立看護大学 (ハイブリッド)	大学院生	7名
講師	垣上 正裕	老化と発達の理解	群馬パース大学福祉専門学校	令和6年4月～5月	群馬パース大学福祉専門学校	福祉専門学校学生	40名
講師	佐々木馨子	成人看護学各論Ⅰ「セルフケアの再獲得が 必要な人の看護 (神経難病)」	茨川看護専門学校	令和6年7月11日	茨川看護専門学校	看護学生	約30名
講師	佐藤 正樹	情報科学	SUBARU健康保険組合太田高等看護学院	令和6年5月7日～14日	太田高等看護学院	看護学生	約40名
講師	島田 葉子	母性看護方法論Ⅰ	定利大学	令和6年5月20日～7月30日	定利大学	看護学生	約80名
講師	鈴木 恵理	補完・代替療法入門	放送大学学園	令和6年6月15日、22日	放送大学群馬学習センター	学生	20名
講師	坪井 りえ	公衆衛生 (地域保健①親子保健、地域保健 ②精神保健福祉・自殺対策)	上尾中央看護専門学校	令和6年4月10日	上尾中央看護専門学校	看護専門学校学生	80名
助教	塩澤 麻子	母性看護学方法論Ⅰ	前橋市医師会立前橋高等看護学院	令和6年7月1日～7月22日	前橋市医師会立前橋高等看護学院	看護学生	約30名
助教	山岸 昌平	発達支援研究法特殊講義	長野大学大学院	令和6年6月15日、22日	長野大学大学院	大学院生	1名

【診療放射線学部】

職位	氏名	活動・テーマ (科目名等)	主催	実施日時 (期間)	実施場所	対象者	参加人数
教授	佐藤 哲大	看護と情報科学	東群馬看護専門学校	令和6年4月24日～ 7月31日	東群馬看護専門学校	看護学生	約80名

職位	氏 名	活動・テーマ (科目名等)	主 催	実施日時 (期間)	実施場所	対象者	参加人数
教授	下瀬川正幸	放射線学シミュレータ特論、放射線画像解析特論Ⅱ	群馬大学大学院医学系研究科	令和6年度	—	—	—
教授	下瀬川正幸	博士論文 外部審査員	杏林大学大学院保健学研究科	令和6年11月～令和7年1月	杏林大学	—	—
教授	瀬川 篤記	臨床実習	群馬大学	令和6年6月～令和7年3月	群馬大学医学部附属病院	医学科学生および初期研修医	のべ約20名
教授	林 則夫	非常勤講師：放射線画像技術学特論	群馬大学大学院医学系研究科	令和6年度			
教授	原 孝光	群馬大学腫瘍放射線学講座協力研究員	群馬大学	令和6年4月～令和7年3月	群馬大学		
教授	原 孝光	放射線管理計測学特論	群馬大学大学院医学系研究科	令和6年4月～令和7年3月	群馬大学		
教授	原 孝光	医療基礎生物学	群馬パース大学	令和6年4月～令和6年9月	群馬パース大学		
准教授	川村 拓	医用画像情報学実験	東京都立大学	令和6年4月1日～令和6年9月30日	東京都立大学	放射線学生	約40名
准教授	川村 拓	東京都立大学客員研究員	東京都立大学	令和6年度	東京都立大学	—	—
准教授	杉野 雅人	放射線安全管理特論	群馬大学大学院医学系研究科	令和6年4月1日～令和7年3月31日	—	—	—
准教授	長島 宏幸	人間工学	前橋高等看護学院	令和6年9月12日～12月19日	前橋高等看護学院	看護学生	27名
講師	丸山 星	医療画像情報学Ⅰ	群馬パース大学	令和6年4月～令和6年8月	群馬パース大学	放射線学科学学生	約80名
講師	丸山 星	医用画像処理工学	群馬パース大学	令和6年4月～令和6年8月	群馬パース大学	臨床工学科学学生	約40名
講師	丸山 星	基礎物理学	群馬パース大学	令和6年4月～令和6年6月	群馬パース大学	理学療法科学学生 他	約80名
講師	丸山 星	物理学	群馬パース大学	令和6年6月～令和6年12月	群馬パース大学	理学療法科学学生 他	約80名
講師	丸山 星	診療画像解析学実習Ⅲ	群馬パース大学	令和6年11月～令和6年12月	群馬パース大学	放射線学科学学生	約80名
講師	米持 圭太	看護と情報科学	東群馬看護専門学校	令和6年6月19日、令和6年6月26日	東群馬看護専門学校	看護学生	70名
講師	米持 圭太	情報処理	群馬パース大学	令和6年4月1日～9月30日	群馬パース大学	リハビリテーション学部生・医療技術学部生	180名
講師	米持 圭太	学生向け告示研修 (実技研修) ファシリテータ (静脈路確保)	群馬パース大学	令和6年8月30日	群馬パース大学	医療技術学部生	44名
講師	米持 圭太	情報リテラシー	群馬パース大学	令和6年10月1日～令和7年1月31日	群馬パース大学	看護学部生・リハビリテーション学部生・医療技術学部生	100名
助教	津野 隼人	医療管理総論	東京医療秘書 & IT 専門学校	令和6年4月～令和6年7月	東京医療秘書 & IT 専門学校	診療情報管理科学学生	約20名
助教	津野 隼人	医療用語Ⅱ (英語)	東京医療秘書 & IT 専門学校	令和6年4月～令和6年7月	東京医療秘書 & IT 専門学校	診療情報管理科学学生	約20名
助教	津野 隼人	医学・医療用語	東京医療秘書 & IT 専門学校	令和6年4月～令和6年7月	東京医療秘書 & IT 専門学校	診療情報管理科学学生	約20名
助教	津野 隼人	医療管理名論Ⅰ	東京医療秘書 & IT 専門学校	令和6年9月～令和7年3月	東京医療秘書 & IT 専門学校	診療情報管理科学学生	約20名

職位	氏 名	活動・テーマ (科目名等)	主 催	実施日時 (期間)	実施場所	対象者	参加人数
助教	津野 隼人	医療管理各論Ⅲ	東京医療秘書 & IT 専門学校	令和6年9月～ 令和7年3月	東京医療秘書 & IT 専門学校	診療情報管理学 科学生	約20名
助教	津野 隼人	医療統計Ⅰ	東京医療秘書 & IT 専門学校	令和6年9月～ 令和7年3月	東京医療秘書 & IT 専門学校	診療情報管理学 科学生	約20名

報道記事

【看護学部】

職位	氏 名	報道機関	全国版・地方版 (番組名)	掲載日時	テーマ
教授	高井ゆかり	日本経済新聞 日経メデイカル	Web記事	令和6年9月26日	日本版アビー痛みスケールの開発者に聞く 認知症の人が相手でも、痛みは評価できる
講師	高橋 裕子 ピアサークル学生	桐生タイムス		令和7年3月21日	思春期の身体と心ともに学ぼう 梅田中生に 「ピア活動」
講師	高橋 裕子 ピアサークル学生	朝日新聞	地方版	令和7年3月28日	女性に悩み・疑問語り合う 中高大生ら将来像も
講師 助教	高橋 裕子 塩澤 麻子 ピアサークル学生	上毛新聞	地方版	令和7年3月31日	高崎で女子学生らイベント 自分らしい生き方を

【診療放射線学部】

職位	氏 名	報道機関	全国版・地方版 (番組名)	掲載日時	テーマ
助教	佐藤 充	上毛新聞	地方版	令和6年8月31日	生成AI活用巡り公開講座
助教	津野 隼人	十勝毎日新聞	地方版	令和6年4月25日	首都圏NOW～研究者に好奇心大切、帯広市出身

群馬県立県民健康科学大学地域連携・キャリア開発センター設置運営規程

(設置)

第1条 この規程は、群馬県公立大学法人組織規程第7条の規定に基づき、群馬県立県民健康科学大学地域連携・キャリア開発センター（以下「センター」という。）の設置及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 センターは、県立の医療系大学として、大学が所有する知的財産や研究成果等を、県民をはじめ、広く教育機関、医療機関、医療従事者、行政等に対し還元することにより、県民の保健、医療及び福祉の向上に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 センターは、前条の目的を達成するため、次のことに係る事業を実施するものとする。

- (1) 看護学教員養成課程に関すること
- (2) 看護学実習指導者養成講習会に関すること
- (3) 看護師特定行為研修課程に関すること
- (4) 県立病院・県内病院等との連携に関すること
- (5) 看護職に対する研究支援に関すること
- (6) 放射線教育・研修に関すること
- (7) 公開講座・出前講座に関すること
- (8) 情報発信に関すること
- (9) 健康福祉政策・地域連携に関すること
- (10) 健康寿命延伸プロジェクトに関すること
- (11) その他前条の目的を達成するために必要なこと

(組織)

第4条 センターには、センター長及び副センター長を置く。

- 2 前条に定める事業を推進し、目的を達成するため、地域連携・キャリア開発センター運営会議（以下「センター運営会議」という。）を設置する。
- 3 センター運営会議に、前条の事業を実施するため、地域連携・キャリア開発センター運営委員会（以下「センター運営委員会」という。）を置く。
- 4 センター運営会議及びセンター運営委員会は、センター長が主宰する。
- 5 副センター長は、センター長を補佐する。

(協議及び報告)

第5条 センター長は、センター事業の運営方針や進捗状況等について、大学運営会議に協議及び報告するものとする。

(事務)

第6条 センター運営会議及び運営委員会の事務は、事務局教務係で処理する。

(委任)

第7条 この規程に定めるもののほか、センターの設置運営に関し必要な事項については、学長が別に定めるものとする。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和6年4月1日から施行する。

群馬県立県民健康科学大学地域連携・キャリア開発センター運営会議及び地域連携・キャリア開発センター運営委員会設置運営細則

(趣旨)

第1条 この細則は、群馬県立県民健康科学大学地域連携・キャリア開発センター設置運営規程第7条の規定に基づき、地域連携・キャリア開発センター運営会議（以下「センター運営会議」という。）及び地域連携・キャリア開発センター運営委員会（以下「センター運営委員会」という。）の組織及び運営等について必要な事項を定めるものとする。

(センター運営会議の組織)

第2条 センター運営会議は、次の構成員によって組織する。

- (1) 地域連携・キャリア開発センター長（以下「センター長」という。）及び副センター長
- (2) 学部長
- (3) 地域連携・キャリア開発センター事業（以下「センター事業」という。）の担当者から互選により選ばれた責任者
- (4) 事務局長
- (5) 学外有識者
- (6) 県職員の中からセンター長が必要と認める者
- (7) その他センター長が必要と認める者

(センター運営会議委員の任期)

第3条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

- 2 委員に欠員が生じた場合の後任委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(センター運営会議の運営)

第4条 センター運営会議は、センター長が招集し、その議長となる。

- 2 センター長が出席できないときは、センター長が指名する者がその職務を代理する。
- 3 センター運営会議は、構成員の3分の2以上の出席がなければ開くことができない。
- 4 センター運営会議の議事は、出席委員の過半数によりこれを決定し、可否同数のときは議長が決定する。

(センター運営会議の審議事項)

第5条 センター運営会議は、次の事項について審議する。

- (1) 地域連携・キャリア開発センター（以下「センター」という。）の運営方針に関する事項
- (2) センターの事業計画の策定及び評価に関する事項
- (3) センターに係る規程の制定又は改廃に関する事項
- (4) その他センター長が必要と認める事項

(センター運営委員会の組織)

第6条 センター運営委員会は、次の構成員によって組織する。

- (1) センター長及び副センター長
- (2) 学部長
- (3) センター事業の担当者から互選により選ばれた責任者
- (4) その他センター長が必要と認める者

(センター運営委員会委員の任期)

第7条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

- 2 委員に欠員が生じた場合の後任委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(センター運営委員会の運営)

第8条 センター運営委員会は、センター長が招集し、その議長となる。

- 2 センター長が出席できないときは、センター長が指名する者がその職務を代理する。
- 3 センター運営委員会は、構成員の3分の2以上の出席がなければ開くことができない。
- 4 センター運営委員会の議事は、出席委員の過半数によりこれを決定し、可否同数のときは議長が決定する。

(センター運営委員会の審議事項)

第9条 センター運営委員会は、次の事項について審議する。

- (1) センターの運営及び事業の実施に関する事項
- (2) センターの事業計画及び評価の検討に関する事項
- (3) センターに係る規程の制定又は改廃の検討に関する事項
- (4) その他センター長が必要と認める事項

(委員以外の者の出席)

第10条 センター運営会議及びセンター運営委員会の議長は、会議の運営上必要と認めるときは、委員以外の者に出席を求めることができる。

附 則

この細則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、令和6年4月1日から施行する。

令和6年度地域貢献活動報告書

発行者 群馬県立県民健康科学大学
〒371-0052 群馬県前橋市上沖町323-1
TEL 027-235-1211
FAX 027-235-2501
印刷所 朝日印刷工業株式会社

